KEIO SFC GUIDE 2022　目 次

ＳＦＣ学事日程 …… 2

１．ＳＦＣキャンパス案内

1　学事担当 …… 6
2　学生生活担当 …… 8
3　就職・進路支援担当（CDP オフィス）…… 10
4　その他窓口 …… 11
5　Web サイト・メール …… 12

２．履　修

1　履修とは …… 13
2　履修申告の流れ …… 13
3　履修申告について …… 15
4　各科目履修申告時の注意事項 …… 18
5　総環設置科目以外の履修 …… 21
6　その他 …… 24

３．カリキュラム、進級・卒業条件

在学生に適用される学則 …… 25
1　カリキュラム …… 26
2　進級と卒業条件 …… 32

塾生、保護者・保証人の方々にかかわる個人情報の取扱い …… 36

慶應義塾湘南藤沢キャンパスマップ …… 37

湘南藤沢キャンパス 施設案内図 …… 38

歌　　集 …… 41

【重要】

これまで冊子で案内していた内容は塾生サイトで SFC GUIDE Web として公開しています。この冊子に掲載されていない事項についても案内していますので、必ず併せて確認するようにしてください。

URL：https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/guide.html

この履修案内は、2022 年度に総合政策学部および環境情報学部に在籍する学生に対する諸注意について解説しています。入学時に配布された「学部学則」を併せて熟読し、内容を十分に理解した上で履修するようにしてください。

この冊子や keio.jpポータル、塾生サイト、ガイダンスでの注意を見たり聞いたりすることを怠ったための不利益は、学生本人の責任となりますので注意してください。

この冊子を読んでもなお不明な点は、学習指導担当教員や SFC 学事担当窓口に問い合わせ、決して曖昧なままにしないでください。

2022 年度　SFC 学事日程

※他キャンパスの学事日程とは異なる場合があります。他キャンパスの学事日程は塾生サイト等で確認してください。
※日程は変更される場合があります。最新の情報は keio.jp 等に掲載されます。

授業期間　休校期間　休日

①、②…：2 学期制科目の授業回数　❶、❷…：4 学期制科目　学期前半の授業回数　⑴、⑵…：4 学期制科目　学期後半の授業回数

4 月

日	月	火	水	木	金	土
					1 入学式（日吉キャンパス） 4 年生卒業見込証明書 発行開始	2
3 春学期科目履修選抜 エントリー締切 12:00 履修申告（1 次）（3 日 12:30 ～ 5 日 16:45）	4	5	6 春学期科目選抜結果発表 13:00 履修申告（2次）（6日 18:00 ～ 14日 10:00）	7 春学期授業開始 ①❶❷	8 ①❶❷	9 補講日
10 履修申告（2 次）（6 日 10:00 ～ 14 日 10:00）	11 ①❶❷	12 ①❶❷	13 ①❶❷	14 ②❸❹	15 ②❸❹	16 補講日
17	18 ②❸❹	19 履修確認画面公開 16:00 ②❸❹	20 履修エラー修正（対象者のみ）（20 日 ～ 22 日） ②❸❹	21 ③❺❻	22 ③❺❻	開校記念日（授業あり）　23 補講日
24	25 ③❺❻	26 ③❺❻	27 春学期前半・春学期科目履修取消（27 日 10:00 ～ 28 日 16:45） ③❺❻	28 授業料等納入期限 （全納または春学期分納） ④❼❽	昭和の日　29	30 補講日

5 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ④❼❽	憲法記念日（授業あり）　3 ④❼❽	みどりの日（授業あり）　4 ④❼❽	こどもの日　5	6 ④❼❽	7 補講日
8	9 ⑤❾❿	10 ⑤❾❿	11 ⑤❾❿	12 ⑤❾❿	13 ⑤❾❿	14 補講日
15	16 ⑥⓫⓬	17 ⑥⓫⓬	18 ⑥⓫⓬	19 ⑥⓫⓬	20 ⑥⓫⓬	21 補講日
22	23 ⑦⓭⓮	24 ⑦⓭⓮	25 ⑦⓭⓮	26 ⑦⓭⓮	27 ⑦⓭⓮	28 野球早慶戦（予定）
29 野球早慶戦（予定）	30 春学期前半科目試験日 補講日	31 春学期休学願提出期限 春学期前半科目追加試験 申請締切 11:30 GIGA サティフィケート申請締切 ⑧⑴⑵				

6 月

日	月	火	水	木	金	土
			1 ⑧⑴⑵	2 ⑧⑴⑵	3 春学期前半科目追加試験日 ⑧⑴⑵	4 補講日
5	6 ⑧⑴⑵	7 ⑨⑶⑷	8 ⑨⑶⑷	9 ⑨⑶⑷	10 ⑨⑶⑷	11 補講日
12	13 ⑨⑶⑷	14 春学期前半科目成績発表 春学期後半科目履修取消（14 日 10:00 ～ 15 日 16:45） ⑩⑸⑹	15 春学期前半科目成績質問 締切 16:50 ⑩⑸⑹	16 ⑩⑸⑹	17 ⑩⑸⑹	18 補講日
19	20 ⑩⑸⑹	21 ⑪⑺⑻	22 ⑪⑺⑻	23 ⑪⑺⑻	24 ⑪⑺⑻	25 補講日
26	27 ⑪⑺⑻	28 ⑫⑼⑽	29 ⑫⑼⑽	30 ⑫⑼⑽	6 月上旬：卒プロメンター 1 次申請 6 月中旬：卒プロメンター 1 次申請結果発表 6 月下旬：卒プロ 2 成果登録開始	

授業期間　休校期間　休日

①、②…：2学期制科目の授業回数　❶、❷…：4学期制科目　学期前半の授業回数　(1)、(2)…：4学期制科目　学期後半の授業回数

7月

日	月	火	水	木	金	土
7月上旬：卒プロメンター2次申請 7月中旬：卒プロメンター2次申請結果発表					1 ⑫(9)(10)	2 七夕祭（予定）
3 七夕祭（予定）	4 ⑫(9)(10)	5 ⑬(11)(12)	6 春学期後半・春学期科目定期試験時間割発表 ⑬(11)(12)	7 ⑬(11)(12)	8 ⑬(11)(12)	9 補講日
10	11 ⑬(11)(12)	12 ⑭(13)(14)	13 ⑭(13)(14)	14 ⑭(13)(14)	15 ⑭(13)(14)	16 補講日
17	18 海の日（授業あり） 春学期授業終了 ⑭(13)(14)	19 補講日	20 春学期後半・春学期科目定期試験（20日～27日）　※27日は予備日	21	22	23
24	25 春学期後半・春学期科目定期試験（20日～27日）　※27日は予備日	26 卒プロ2成果登録締切	27	28	29 在学期間延長制度・ 3.5年早期卒業制度・ 学部大学院修士4年一貫 教育プログラム　申請締切	30 キャンパス一斉休業
31 キャンパス一斉休業						

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1 湘南藤沢キャンパス一斉休業（7月30日～8月7日）	2	3	4	5	6
7 キャンパス一斉休業	8	9	10 春学期後半・春学期科目追加試験	山の日 11	12 春学期後半・春学期科目追加試験	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
9月上旬：卒プロメンター修正申請開始 9月中旬：卒プロメンター0次申請				1	2	3
4	5 成績発表・卒業発表	6	7	8 春学期・春学期後半科目成績質問締切 16:50	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	敬老の日 19	20 卒業式（三田キャンパス）	21	22 入学式（三田キャンパス） 4年生卒業見込証明書発行開始	秋分の日 23	24
25	26	27 秋学期開講科目履修選抜エントリー締切 12:00 履修申告（1次）（27日 12:30～29日 16:45）	28	29	30 秋学期開講科目選抜結果発表 13:00 履修申告（2次）	

授業期間　休校期間　休日

①、②…：2 学期制科目の授業回数　❶、❷…：4 学期制科目　学期前半の授業回数　⑴、⑵…：4 学期制科目　学期後半の授業回数

10 月

日	月	火	水	木	金	土
						1 履修申告（2 次）
2 履修申告（2 次）（9 月 30 日 18:00 ～ 10 月 8 日 10:00）	3 秋学期授業開始 ①❶❷	4 ①❶❷	5 ①❶❷	6 ①❶❷	7 ①❶❷	8 補講日
9	スポーツの日（授業あり）　10 ②❸❹	11 ②❸❹	12 ②❸❹	13 履修確認画面公開 16:00 ②❸❹	14 履修エラー修正（対象者のみ）（14 日～ 17 日） ②❸❹	15 補講日
16 履修エラー修正（対象者のみ）（14 日～ 17 日）	17 ③❺❻	18 ③❺❻	19 ③❺❻	20 ③❺❻	21 ③❺❻	22 補講日
23	24 秋学期前半・秋学期科目履修取消（24 日 10:00 ～ 25 日 16:45） ④❼❽	25 ④❼❽	26 ④❼❽	27 ④❼❽	28 ④❼❽	29 野球早慶戦（予定）
30 野球早慶戦（予定）	31 授業料等納入期限 （秋学期分納） ⑤❾❿					

11 月

日	月	火	水	木	金	土
		1 ⑤❾❿	2 ⑤❾❿	文化の日（授業あり）　3 ⑤❾❿	4 ⑤❾❿	5 補講日
6	7 ⑥⓫⓬	8 ⑥⓫⓬	9 ⑥⓫⓬	10 ⑥⓫⓬	11 ⑥⓫⓬	12 TOEFL-ITP 補講日
13	14 ⑦⓭⓮	15 ⑦⓭⓮	16 ⑦⓭⓮	17 ⑦⓭⓮	18 （午前） 秋学期前半科目試験日 補講日 （午後）三田祭準備	19 三田祭準備
20 三田祭	21 秋学期前半科目 追加試験申請締切 11:30 三田祭	22 三田祭	勤労感謝の日　23 三田祭	24 三田祭片付け	25 秋学期前半科目追加試験日 ⑦⓭⓮	26 補講日
27	28 ⑧⑴⑵	29 ⑧⑴⑵	30 秋学期休学願提出期限 GIGA サティフィケート申請締切 ⑧⑴⑵			

12 月

日	月	火	水	木	金	土
12 月上旬：卒プロメンター 1 次申請 12 月中旬：卒プロメンター 1 次申請結果発表				1 ⑧⑴⑵	2 ⑧⑴⑵	3 補講日
4	5 ⑨⑶⑷	6 ⑨⑶⑷	7 ⑨⑶⑷	8 ⑨⑶⑷	9 ⑨⑶⑷	10 補講日
11	12 秋学期前半科目成績発表 秋学期後半科目履修取消（12 日 10:00 ～ 13 日 16:45） ⑩⑸⑹	13 秋学期前半科目成績質問 締切 16:50 ⑩⑸⑹	14 ⑩⑸⑹	15 ⑩⑸⑹	16 ⑩⑸⑹	17 補講日
18	19 ⑪⑺⑻	20 ⑪⑺⑻	21 ⑪⑺⑻	22 ⑪⑺⑻	23 ⑪⑺⑻	24 補講日
25	26 ⑫⑼⑽	27 ⑫⑼⑽	28 冬季休校・湘南藤沢キャンパス一斉休業期間（28日～ 1月5日）	29	30	31

授業期間　休校期間　休日

①、②…：2 学期制科目の授業回数　❶、❷…：4 学期制科目　学期前半の授業回数　⑴、⑵…：4 学期制科目　学期後半の授業回数

1 月

日	月	火	水	木	金	土
元日 1	振替休日 2	3	4	5	6 ⑫(9)(10)	7 木曜代替講義日 ⑫(9)(10)
冬季休校・湘南藤沢キャンパス一斉休業期間（12 月 28 日～5 日）						
8	成人の日 9	福澤先生誕生記念日 10	11 ⑫(9)(10)	12 秋学期後半・秋学期科目 定期試験時間割発表 ⑬(11)(12)	13 ⑬(11)(12)	14 補講日
15	16 ⑬(11)(12)	17 ⑬(11)(12)	18 ⑬(11)(12)	19 ⑭(13)(14)	20 ⑭(13)(14)	21 補講日
22	23 ⑭(13)(14)	24 ⑭(13)(14)	25 秋学期授業終了 ⑭(13)(14)	26	27	28
				秋学期後半・秋学期科目定期試験期間（26 日～2 月 2 日）※ 2 月 2 日は予備日		
29	30	31	1 月中旬：卒プロメンター 2 次申請 1 月下旬：卒プロメンター 2 次申請結果発表			
	定期試験期間（26 日～2 月 2 日）※ 2 月 2 日は予備日					

2 月

日	月	火	水	木	金	土
			1 卒プロ 2 成果登録締切	2	福澤先生命日 3	4
			定期試験期間（1 月 26 日～2 月 2 日）※ 2 月 2 日は予備日			
5	6	7	8 秋学期後半・秋学期科目 追加試験	9 秋学期後半・秋学期科目 追加試験	10 在学期間延長制度・3.5 年早期卒業制度・学部大学院修士 4 年一貫教育プログラム　申請締切	建国記念の日 11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	天皇誕生日 23	24	25
26	27	28				

3 月

日	月	火	水	木	金	土
3 月上旬：卒プロメンター修正申請開始			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10 成績発表・卒業発表	11
12	13	14	15	16 秋学期・秋学期後半科目 成績質問締切 16:50	17	18
19	20	春分の日 21	22	23 卒業式（日吉キャンパス）	24	25
26	27	28	29	30	31	

第1 SFCキャンパス案内

1　学事担当

⑴　窓口取扱い時間

A館1階事務室　学事担当

平日　9：15～16：50

休校期間（授業・試験期間外）中の11：30～12：30は閉室

◆土曜、日曜、授業のない（補講含む）祝日、1月10日（福澤先生誕生記念日）および夏季・冬季キャンパス一斉休業期間は閉室します。

◆上記以外の閉室日は、keio.jpポータル、塾生サイトで随時お知らせします。

⑵　学生証

学生証は本塾大学学生であることを証明する身分証明書です。**様々な場面で必要になるので常に携帯してください。不携帯の場合は窓口での一切の手続きができません。**

学生証は「カード」「在籍確認シール」「カードケース」の3点で1セットです。「カード」裏面に「在籍確認シール」を貼り「カードケース」に必ず入れ携帯してください。カードは卒業するまで同じカードを使います。

なお、学生証は他人に貸与または譲渡することはできません。

①　在籍確認シール

2022年度以降、年度ごとのシール更新は行いません。休学・留学・原級等の理由で、シールの有効期限が切れる学生には、有効期限が切れる前に、有効期限を更新したシールを配布します。

2021年度以前から在学中の学生には、2022年3月に、入学から4年間有効なシール（[例]2020年4月1日入学→2024年3月31日まで有効）を配付しますので、古いシールをはがして貼付してください。

②　再交付

「カード」「在籍確認シール」の紛失・破損・汚損などにより再交付を受ける場合は、所定の申請手続きをしてください。

③　返却

再交付後に紛失した学生証が見つかった場合、また、退学などで学籍を離れる場合は直ちに返却してください。

⑶　諸届，申請

①　住所変更届（本人・保証人）

速やかに変更手続きをしてください。住居表示・地番変更の場合も手続きが必要です。

◆本人の住所・電話番号変更

keio.jpポータルの「各種変更」の「住所確認・変更」から変更手続きをしてください。原則として事務室の翌営業日に申請内容が承認され正式に登録されます。

◆保証人の住所・電話番号変更

住所変更の場合は保証人の住民票が必要になります。提出する住民票は、マイナンバー（個人番号）が記載されていないものとしてください。

②　保証人変更届

速やかに届け出てください。保証人は日本国内に居住し、一家計を立てている成年者で、本人の学費と一身上に関する責任を負うことのできる者とし、父または母としてください。父母が保証人となり得ない場合は、兄、姉、伯父、伯母等後見人またはこれに準ずる方としてください。なお、国内に居住する者が保証人となりえない場合は、国外に居住する者を保証人とすることができます。ただし、この場合は、本人に緊急事態が発生した場合の連絡先として、日本国内の住所を必ず「緊急連絡先」として届け出てください。「緊急連絡先」は、

緊急時に速やかに連絡がつくことをその要件とします。

③ **改姓改名届**

速やかに届け出てください。本人の住所変更を伴う場合は、上述に従い、住所変更の届け出が必要です。

④ **学外行事届・海外活動申請書**

学生団体や研究会が学外で合宿、対外試合、催物などを行う場合は「学外行事届」を、海外へ渡航する際には「海外活動申請書」を、事前に下記システム上で作成し、学生団体の会長等の担当教員の承認を得てから、必ず提出してください。届けが提出されなかった場合、事故等により傷害を受けても、学生教育研究災害傷害保険の対象にならないことがあります。

学生団体活動支援システム：https://studentlife.gakuji.keio.ac.jp/ja

⑷ 証明書

証明書の種類、発行方法等、詳細は下記を参照してください。

https://www.students.keio.ac.jp/com/procedure/certificate/issue.html

・各キャンパスの証明書発行機

・全国のコンビニエンスストア（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン（50 音順））にて証明書発行が可能です。利用にはオンライン事前申請が必要になります。

なお、前学期までの学費が未納の場合は、すべての証明書を発行できません。

A 館 1 階事務室窓口前に証明書発行機があります（1 台）。

発行稼働期間：月曜日～土曜日　9：15 ～ 20：00

※休校期間中の土曜日は稼働停止

※日曜日・祝日および大学休業日、学期末は稼働しません。

一部の証明書や厳封（封筒に入れて封をして交付）を必要とする場合は、証明書発行機・コンビニエンスストアは利用せず、SFC 学事担当窓口に申し出てください。すでに発行された証明書を後から厳封することはできません。

◆通学証明書（通学定期券）

2022 年度より、通学定期券の購入手順が変更されました。以下の手順で、紙の「通学証明書」をあらかじめ発行してから、通学定期券を購入してください。なお授業科目履修のために所属以外のキャンパスに通学するための手続きは、塾生サイトでお知らせします。

① 証明書発行サービス（「塾生サイト」→「各種手続き」→「証明書」→「証明書の発行」からアクセス）にログインし、「通学証明書」を申請する。

② コンビニエンスストア、もしくは学内証明書発行機で「通学証明書」を印刷する。

③ 通学証明書に通学区間等を記入し、駅窓口等に通学証明書を提出して通学定期券を購入する。

※「通学証明書」の発行手数料は無料ですが、コンビニエンスストアで印刷する場合、印刷料金が 60 円かかります。

※通学区間は「自宅最寄駅」から「学校最寄駅」の最も経済的な経路に限ります（バス利用の場合は最寄りの停留所）。不正が判明した場合、通学証明書の発行を停止したり、学則に基づき処分することがあります。

※自宅住所を変更する場合、keio.jp ポータル「住所確認・変更」にて、住所変更の申請を行ってください。通学証明書に新住所が反映されるのは、住所変更の承認通知メールが届いた翌朝 7:00 以降です。

⑸ 拾得物

学内の拾得物は、SFC 学事担当窓口に届けてください。なお、窓口取扱時間外は、警備室に届けてください。

窓口に届けられた拾得物について

◆持ち主がわかる拾得物　　：SFC 学事担当窓口にて保管

◆持ち主がわからない拾得物　：保守管理室（湘南コミュニティー A 館 1 階事務室隣）にて保管

体育館、更衣室ロッカー内および教室等に放置してある物品は処分します。なお、盗難の疑いがある場合は SFC 学生生活担当窓口に申し出てください。

⑹ 夜間残留

SFC では科目担当教員の許可が得られた正課での活動に限り、事前申請を行った者のみ下記時間内においてキャンパス内の残留を認めています（以下、夜間残留）。

ただし、テスト勉強、サークル活動、就職活動といった正課外での夜間残留は一切認めていません。

詳細は keio.jpポータル、塾生サイトでお知らせします。

夜間残留時間　23：00 ～翌朝 8：00

備考：残留時間中は警備員が巡回していますので、警備に学生証を提示してください。鍵借用のため、学生証が手元にない場合は、その旨を警備員に説明してください。

＊ 22：30 以降に来校した際には、北門警備室に必ず立ち寄ってください。

＊家族に事前に連絡をし、了承を得たうえで夜間残留をしてください。

＊緊急事態が発生した場合には、北門警備室（0466-47-5111 または内線 52190・52191）に連絡してください。

＊夜間残留は事前の予告なく、停止・中止することがあります。

＜夜間残留可能施設＞

◆特別教室および一般教室

◆共同研究室、個人研究室（教員の許可のある学生のみ利用可）

2　学生生活担当

⑴ 窓口取扱い時間

Ａ館 1 階事務室　学生生活担当窓口
平日　9：15 ～ 16：50
休校期間（授業・試験期間外）中の 11：30 ～ 12：30 は閉室
メールアドレス　sl@sfc.keio.ac.jp

◆土曜、日曜、授業のない祝日、1 月 10 日（福澤先生誕生記念日）および夏季・冬季キャンパス一斉休業期間は閉室いたします。

◆上記以外の閉室日は、塾生サイトで随時お知らせいたします。

⑵ 福利厚生

① 学生健保医療給付制度

病気やケガにより、医療機関で受診した場合に、医療費（保険適用分）の自己負担分の一部を給付する制度です。詳細は、「健保の手引き」（冊子）および Web サイト https://www.students.keio.ac.jp/com/life/health/ をご覧ください。

② 学生教育研究災害傷害保険　略称：学研災　・　学研災付帯賠償責任保険　略称：学研賠

大学の教育研究活動中に生じた不慮の事故により、負傷した場合や、他人にケガを負わせた場合等の救済措置として、大学が保険料を負担して、「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に加入しています。

大学内外での正課、大学行事、課外活動（学外での活動の場合は事前に「学外行事届」の提出が必要）などの活動中が対象となります。詳細は Web サイト https://www.students.keio.ac.jp/com/life/health/insurance.html をご覧下さい。

③ 奨学金制度

経済的に修学が困難な学生、または人物･学業が優秀な学生などを支援するためのお金を奨学金といいます。

奨学金の詳細は、奨学金 Web サイトおよび奨学金案内（冊子）をご覧ください。

湘南藤沢キャンパス奨学金 Web サイト ：https://www.students.keio.ac.jp/sfc/scholarships/unique/

奨学金案内：SFC 学生生活担当窓口（A館１階）にて配布

④　**学費**

学費の納入については、銀行振込制度をとっており、振込用紙は保証人宛に発送されます。振込用紙により、期日までに銀行窓口で納入してください。振込用紙を紛失した際は学生生活担当へご連絡ください。また、納入証明書は大切に保管してください。

	春学期	秋学期
振込用紙発送予定	４月10日頃	10月10日頃
納入期限	４月末日	10月末日

＜授業料延納申請＞

やむを得ない事情で、授業料を期日までに納入できない場合は、「授業料延納申請書」（SFC 学生生活担当窓口および下記 Web サイトで配布）を以下の期日までに提出してください。理由が適当と認められた者に対しては、「延納決定通知書」を送付いたします。

	延納申請書提出期限	延納最終期日
春学期分	５月14日	７月下旬
秋学期分	11月15日	12月中旬

＊上記は予定です。申請する際には、SFC 学生生活担当窓口および下記 Web サイトで日程を確認してください。

Web サイト：https://www.students.keio.ac.jp/com/scholarships/tuition/extension.html

＜大規模自然災害被害による授業料減免申請＞

大規模自然災害により被災し、経済上就学が著しく困難になった学生に対する授業料減免制度があります。該当者はご相談ください。休学を要する場合は塾生サイトを参照してください。

⑤　**塾外諸施設**

a　学生健保互助組合（学生健保）の契約旅館

学生健保では、格安の料金で利用できるように宿泊施設と契約を結んでいる「契約旅館」があります。宿泊施設については「健保の手引き」（冊子）に掲載されておりますので、利用方法等を確認してください。

b　立科山荘（校外教育施設）

所　在　地　：長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野字女神平 1153 番地
電　　話　：0267-55-6625
利 用 期 間　：５月１日～ 10 月 31 日
利 用 団 体　：学生団体、研究会等の正課、卒業生、教職員
予約開始日　：前年度２月６日（２月６日が休日の場合、翌開室日）＊多少前後する可能性があります。
詳細は SFC 学生生活担当窓口（A館１階）にて配布しているパンフレットをご覧ください。

c　大学セミナーハウス

所　在　地　：東京都八王子市下柚木 1987-1
電　　話　：042-676-8511
U　R　L　：https://iush.jp

⑶ 課外活動

①　**学生団体申請**

登録を希望する学生団体は、毎年度申請書類一式を提出してください。なお、公認学生団体の申請は提出期間が指定されます（４月下旬）。審査の結果、慶應義塾の教育目的に添い、かつ適当と認められた団体は慶應義塾大学の学生団体となることができます。

② **車両入構**

a　自転車・バイク

自転車で通学する場合は、北門に入って右手にある駐輪場をご利用ください。

バイクの駐輪を希望する場合は、SFC 学生生活担当窓口（A館１階）にてバイク登録をしてください。

放置自転車・バイクは撤去されますのでしっかりと管理してください。

b　自動車

キャンパス内の自動車の乗り入れ、駐車は原則として禁止しています。

自動車で通学をする場合は、キャンパス周辺の駐車場をご利用ください。

なお、A館１階保守管理室（湘南コミュニティー 0466-48-8917）では、キャンパス周辺の駐車場の契約を行っています。

③ **貸しロッカー**

キャンパス内（κ館、ι館、Ω館など）の貸しロッカーの利用を希望する場合は、A館１階保守管理室（湘南コミュニティー 0466-48-8917）にお問い合わせください。

3　就職・進路支援担当（CDP オフィス）

A館１階にある SFC 就職・進路支援担当窓口（CDP オフィス）では、就職・進路に関連した各種支援を行っています。学年問わず利用できる支援内容も多くありますので、気軽に利用してください。

塾生サイト　就職・進路ページ　https://www.students.keio.ac.jp/com/career/service/

SFC 就職・進路担当　Facebook ページ　https://www.facebook.com/keiosfccdp/

⑴ **窓口取扱い時間**

平日　9：15 ～ 16：50

休校期間（授業・試験期間外）中の 11：30 ～ 12：30 は閉室

メールアドレス　cdp@sfc.keio.ac.jp

◆土曜、日曜、授業のない祝日、1 月 10 日（福澤先生誕生記念日）および夏季・冬季キャンパス一斉休業期間は閉室いたします。

◆上記以外の閉室日は、塾生サイトで随時お知らせします。

⑵ **支援内容**

① **個別相談**

進路や就職活動に関する各種相談に応じています。在学生であれば誰でも利用可能です。その他、履歴書・エントリーシート講評や模擬面接も行っていますので、就職活動開始後にはこちらも利用してください。対面、オンライン、どちらでも可能ですが、事前予約が必要です。

② **就職ガイダンス・セミナーの実施**

就職・進路に関連したガイダンス・セミナーを学内で随時開催しています。学年不問で開催しているものも多くありますので、興味があるものには遠慮なく参加してください。ガイダンス・セミナー情報はA館１階掲示板および上記塾生サイト上で告知します。

③ **求人情報、就職活動体験記、OB・OG 名簿の提供**

各企業・団体から寄せられた求人情報や先輩達の就職活動体験記は、「慶應義塾共通認証システム（keio.jp）」を利用して、学内はもちろん学外からでも検索することができます。紙媒体で届いた求人情報は、上記塾生サイト上、もしくは CDP オフィス内にて閲覧できます。その他、OB・OG 名簿等の情報は CDP オフィス内でのみ閲覧できます。OB・OG 名簿は学部３年次の秋学期以降閲覧が可能になります。

④　**インターンシップ情報の提供**

各企業・団体から寄せられた募集内容を上記塾生サイト内のインターンシップに関する項目でお知らせしています。学年を限定しない募集も多くあります。

⑤　**就職関連書籍の貸出、新聞の閲覧**

CDP オフィスにある就職関連書籍は 1 週間の貸出を行っています。オフィス前の新聞閲覧コーナーでは、日本経済新聞・日経産業新聞や企業パンフレットの閲覧が可能です。

⑶　学校推薦制度

主として技術系就職を希望する学生に向け、SFC 独自の学校推薦制度を設けています。研究開発、システムエンジニア、ネットワーク技術系といった職種の条件等で推薦枠が設定され、学内選考を経て、学部長または大学院研究科委員長名による大学からのオフィシャルな推薦状を伴う採用形態です。選考期間の短縮や、選考時に希望部署とのマッチングが行われるなど様々なメリットがあります。一方、推薦者として決定した後の辞退はできません。推薦制度のスケジュールは、例年 12 月頃より Web サイトでお知らせいたします。

⑷　公務員志望者支援

公務員志望者への各種支援を行っています。

・公務員志望者のためのガイダンス、各省庁学内業務説明会の開催
・公務員模擬試験受験者への費用補助
・慶應義塾大学法学部　法学研究所　入室手続き

法学研究所の入室手続きを受け付けています。法学研究所設置講座の受講を希望する方は利用してください。

4　その他窓口

⑴　心身ウェルネスセンター

①　**学生相談部門　https://counseling.sfc.keio.ac.jp/counseling.html**

学生生活の中でのどんな問題についても気軽に相談においでください。キャンパスライフについてはもちろん、個人的なこと、心の悩みについてもどうぞ。専門のカウンセラーが相談に応じます。英語での相談も可能です。

②　**保健管理部門　http://www.hcc.keio.ac.jp/**

保健管理センター（心身ウェルネスセンター内）では、学生・教職員の健康管理、保健教育、環境衛生などを行っています。健康相談や応急処置も無料で受けられます。また保健管理センターには湘南藤沢診療所を併設しており、医師による診療が受けられます。

⑵　メディアセンター（図書館）

https://www.lib.keio.ac.jp/sfc/

学習・教育・研究活動をサポートするために、図書・雑誌や電子ジャーナル・電子ブック・データベース等の学術資料、3D プリンタ等のファブスペース設置機材や音響・映像用の AV 機器、スタジオ等の設備を提供しています。 また、インフォメーションテクノロジーセンターと協力してコンピュータ機器やネットワークなどの情報利用環境も提供しています。

⑶　インフォメーションテクノロジーセンター（ITC）

https://www.sfc.itc.keio.ac.jp/

ITC では、コンピュータの設置、管理・運営などの管理者権限を必要とする作業や、学生に対する情報提供を行っています。

5　Web サイト・メール

最新のお知らせ、重要なお知らせを Web サイトやメールを通じて提供しますので日常的に確認するようにしてください。お知らせを見逃したことによる損害や不利益について、大学は一切の責任を負いません。

また履修申告や授業参加にあたっては Web サイトの利用が必須で、その他の申請や手続きでも Web サイトの利用が必要となることがあります。

各 Web サイト・メールの機能や使い方についてはそれぞれの利用ガイドやマニュアルを事前に確認するようにしてください。

⑴　keio.jpポータル

慶應義塾共通認証システムにより提供される各種サービスの統合メニューサイトです。

URL：https://portal.keio.jp/

ID/Password：慶應 ID ／パスワード

⑵　塾生サイト

在学生（塾生）に向けて各種情報を提供するポータルサイトです。これまで SFC GUIDE に掲載していた情報や案内は塾生サイトで公開しています。

URL：https://www.students.keio.ac.jp/

⑶　SOL（SFC Online Learning System）

総合政策学部・環境情報学部・政策メディア研究科で用いている授業支援のための Web システムです。

URL：https://sol.sfc.keio.ac.jp/

ID/Password：CNS アカウント ／パスワード

⑷　メール

大学からの重要なお知らせは CNS アカウントのメールアドレス（@sfc.keio.ac.jp）、keio.jp のメールアドレス（@keio.jp）に届くことがありますので日頃から確認するようにしてください。

また教員や事務室にメールで連絡を取る際は CNS アカウントのメールアドレスまたは keio.jp のメールアドレスを使用するようにしてください。その他のメールアドレスから問い合わせがあった場合には回答ができないことがあります。

第2 履　修

1　履修とは

単位の修得のために学部で規定された科目を選択し学ぶことを「履修」と言います。履修する科目は、多数の開講科目の中から、これまでの単位修得状況や進級・卒業要件に応じて、時間割・シラバスを参考に、自身で選択します。

⑴　各学期のはじめに履修申告を行い、申告した授業に出席します。

⑵　履修申告した科目は、定期試験、レポート、授業内試験等、科目ごとに異なる方法で評価されます。

⑶　履修した科目の成績は、学業成績表として公開され、合格基準を満たした場合には所定の単位が与えられます。

単位修得状況に応じて、翌学期の申告科目を検討します。単位修得を積み重ねた結果、所定の要件を満たすと、進級・卒業することができます。

2　履修申告の流れ

履修申告は履修する科目を登録するものであり、修学の意思を確認するものでもあります。定められた期間に申告がない場合は、修学の意思が確認できないとして、学則第188条により退学処分となります。以下をよく読み、絶対に誤りのないように行ってください。

春学期
　３月10日頃～
秋学期
　９月５日頃～

⑴　シラバス閲覧・履修者選抜情報等確認

時間割、シラバスを参考にし、次学期に履修する科目を決めましょう。シラバスには授業計画、成績評価基準、履修者数制限等の情報が掲載されています。前提となる知識、スキル、履修前提科目・推奨科目などの履修条件が指定されている科目もあります。予めよく読んだ上で履修してください。

シラバスの閲覧にはCNSアカウントが必要です。

▶時間割・シラバス掲載ページ
https://www.students.keio.ac.jp/sfc/class/registration/

↓

春学期
　３月中旬～４月上旬
秋学期
　９月中旬～下旬

⑵　履修者選抜・結果確認

多くの科目において、初回授業前に履修者選抜が行われます。選抜に申請し、選抜結果に応じて履修計画を修正しましょう。主な方法は以下の通りです。

①　履修者選抜

履修者選抜のある科目の履修を希望する場合、「選抜エントリー」を行ってください。選抜結果は、後日発表されます。詳細はkeio.jpポータル、塾生サイトにて確認してください。

②　英語事前予約システム https://vu5.sfc.keio.ac.jp/english-reg/

プロジェクト英語（A～C）、SFC実践英語入門は、英語事前予約システム上での事前予約に基づき抽選が行われます。TOEFLスコアによって履修できる科目が異なります。TOEFLスコアを未提出の場合、履修できません。

③　情報技術系科目希望クラス登録・抽選 https://itclass.sfc.keio.ac.jp/classreg/

「情報基礎」等の情報技術系科目のクラス登録、抽選が行われます。

④　研究会

研究会の選考は原則として履修を希望する学期の前学期から始まるので、研究会の履修を検討している場合はシラバスが公開され次第、Webサイトから選抜スケジュールを確認してください。

↓

春学期
　４月上旬～
秋学期
　９月下旬～

⑶　**履修申告**

履修する科目すべてを履修申告します。P.15 からの「3. 履修申告について」を必ず参照してください。申告は時間に余裕を持って行い、疑問がある場合は申告期間内に SFC 学事担当に確認してください。

①　**「履修申告」画面へのアクセス**

以下のページの操作手順や注意事項をよく読んで申告を行ってください。

▶履修申告の操作手順

https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/class/registration/

②　**登録完了画面の保存**

科目登録後、エラーがある場合には画面上に表示されます。すべての科目が正しく登録されていることを確認してください。期間中は何度でも申告内容の変更ができますが、**履修申告期間後はいかなる理由があっても科目の追加、削除は出来ません。申告が完了したら必ず科目や分野の間違いや不足がないかを確認してください。**

春学期
　４月下旬
秋学期
　10月中旬

⑷　**履修申告科目確認期間**

履修申告時に保存した登録完了画面と、「登録済科目確認」画面を比較し、正しく申告が行われているかどうか必ず確認してください。内容が異なる場合、SFC 学事担当に確認してください。

春学期
　４月下旬
秋学期
　10月中旬

⑸　**履修エラー修正期間（対象者のみ）**

履修申告にエラーがある対象者のみ、修正を受け付ける期間です。対象者には“要修正欄”、“エラー欄”、“確認情報欄”にメッセージが表示されます（春学期 4 月中旬、秋学期 10 月中旬）。

履修エラー修正期間中に修正手続きが完了しなかった場合、学事担当で不備を修正します。この期間に手続きを怠ったために生じた不利益について、大学側は一切責任を持ちません。

春学期・春学期前半科目
　４月下旬
春学期後半科目
　６月中旬
秋学期・秋学期前半科目
　10月下旬
秋学期後半科目
　12月中旬

⑹　**履修登録取消期間**

履修登録済の科目について履修を取消すことができます。ただし、一部の科目は取消すことができません。取消した科目の成績はつきません。また、新たな科目の追加はできません。

※履修取消不可科目は塾生サイトで確認してください。

※通年科目およびセット科目は、春学期科目・春学期前半科目の履修登録取消期間に手続きをしてください。

keio.jpポータルにログイン→［授業］→［履修申告］→［取消申告］

3　履修申告について

⑴　履修申告における注意事項

履修者選抜と履修申告は異なるものです。履修者選抜で合格した科目は履修申告を正しく完了することで初めて履修できます。履修申告を正しく完了しなかった場合は、履修者選抜で合格した科目であっても履修することができません。

①　総合政策学部・環境情報学部設置科目以外を履修する場合、P.21〈5. 総環設置科目以外の履修〉を熟読してください。

②　履修申告期間後は科目の追加、削除ができません。また、履修申告をしていない科目は、単位を修得できません。

⑵　履修上限単位

１学期間に履修できる単位の上限は以下の通りです。

進級・卒業に必要な単位の上限	20単位
自由科目を含めた単位の上限	30単位

ただし、以下の科目は履修上限単位には含まれません。

「心身ウェルネス」「体育 1」「体育 2」「体育 3」「体育 4」「体育 5」

「特別研究プロジェクトＡ」「特別研究プロジェクトＢ」

また、大学院先取り科目は自由科目のため、進級･卒業に必要な単位の履修上限（20 単位）には含まれません。

なお、履修上限単位を超えて履修申告した場合、上限を超過した単位数分履修が削除される可能性がありますので注意してください。

⑶　分野

分野とは、学則に基づいて科目を種類ごとに分類したものです。（P.30〈科目および単位数・分野〉参照）総合政策学部・環境情報学部設置科目にはすべて分野が割り振られており、履修申告の際に科目を登録すれば、自動的に科目に応じた分野が登録されます（A 欄申告）。

自動的に科目に応じた分野が登録される科目（A 欄申告）	分野
・総合政策学部・環境情報学部設置科目（以下の例外を除く）	P.30〈科目および単位数・分野〉参照
・政策･メディア研究科設置プログラム科目(P.21 ＜大学院先取り科目＞参照)	自由科目
・国際センター設置短期海外研修科目（P.21 参照）	言語コミュニケーション科目 (自由科目でも可)

他学部・研究所・センターの開講科目等、分野の割り振られていない科目を申告する場合や、自由科目として履修する場合は、履修申告の際に分野を指定する必要があります。指定できる分野は科目によって決まっていますので、以下を参照し、正しく申告してください。

分野の指定が必要な科目	分野
・進級・卒業に必要な単位外での履修 ・研究所・センター設置科目（国際センター設置三田キャンパス開講科目を除く） ・その他、特別な指示があった場合（P.16 ③自由科目参照）	自由科目
・総合政策学部・環境情報学部以外の学部設置科目 ・国際センター設置三田キャンパス開講科目（短期海外研修プログラムを除く）	他学部等設置科目

⑷ 科目について

① 前提科目

科目を履修する前提条件として、前学期までの単位修得などが必須とされている場合があります。

科目名または分野	前提科目・履修条件
体育 2，体育 3	「体育 1」の単位修得
体育 4，体育 5	「体育 3」の単位修得
情報技術基礎科目 （「情報基礎 1」を除く）	「情報基礎 1」の単位修得 ただし、「情報基礎 2」以外の科目はタイピング試験合格も前提条件
卒業プロジェクト 2	「卒業プロジェクト 1」の単位修得 ただし、留学中に卒業プロジェクト 1 を進める場合は除く。

② クラス指定科目

クラスによって、履修する曜日時限が定められている科目です。以下の科目または分野については、入学 1 学期目の新入生は、指定されたクラスで履修申告をしてください。これらの科目に関しては、シラバスに指示がある場合でも履修選抜のエントリーは不要です。

科目名または分野	クラス変更の可否
心身ウェルネス	入学 1 学期目の新入生はクラス変更できません。
体育 1	［入学 1 学期目の新入生］クラス変更はできません。 ［再履修者］春学期は専任教員のクラス、秋学期は再履修者用クラスのみ履修可能です。必ず初回授業に出席し履修許可を得てください。
情報基礎 1	［ 入学 1 学期目の新入生 ］クラスの変更を希望する場合は、以下の Web サイトから申請してください。抽選になる場合があります。 https://itclass.sfc.keio.ac.jp/classreg/ ［ 再履修者 ］再履修者クラスは選抜エントリーを行ってください。選抜後、再履修者クラス・新入生クラスとも空席があるクラスは追加募集を行いますので、以下の Web サイトから申請してください。 https://itclass.sfc.keio.ac.jp/classreg/ なお、春学期は再履修者クラスがありませんので、新入生クラスの追加募集のみになります。
言語コミュニケーション科目	入学 1 学期目の新入生はクラス変更できません。ただし、資格認定試験に合格した場合はその科目を履修できます。入学 1 学期目の履修上限は 1 言語（4 単位）までです。（ロシア語、イタリア語を除く。） ２学期目以降はシラバスの指示に従い履修者選抜に参加してください。

③ 自由科目

進級・卒業に必要な単位に含まれない科目・分野です。

以下の場合は、自由科目としてしか履修できません。また、履修申告時の分野として「90-01-02 自由科目その他」を指定して登録しなければなりません。

なお、一度自由科目として履修・修得した単位を後から進級・卒業に必要な単位に、またその逆にも変更することはできません。

科目名等	分野指定
政策・メディア研究科のプログラム科目	指定なし
既に一度単位を修得済みの科目	90-01-02 自由科目 その他
研究所・センター設置科目 （国際センター設置三田キャンパス開講科目・GIC センター設置日吉キャンパス開講科目を除く）	
同一科目（1 学期に複数履修する場合）（④同一科目参照）	
1 学期の進級・卒業に必要な単位の履修上限単位を超えて履修する科目（P.15）	
その他特別な指示がある場合	

また、次の科目は自由科目として履修することができません。

SFC 実践英語入門、言語コミュニケーション科目のインテンシブ･ベーシック※、心身ウェルネス、体育 1、体育 2、体育 3、体育 4、体育 5、卒業プロジェクト 1、卒業プロジェクト 2

※日本語インテンシブは自由科目として履修可能。

④ 同一科目

科目名が同じ科目は、担当者が異なる場合も含め、進級・卒業に必要な単位として原則１度しか履修できません。同一学期に同一科目を複数履修する場合や、進級・卒業に必要な単位として修得済みの科目を再度履修する場合は、「自由科目」としてのみ履修できます。

ただし、次の科目は、進級・卒業に必要な単位として複数回の履修ができます。

プロジェクト英語Ａ／Ｂ／Ｃ／Ｄ、日本語インテンシブ初級１／２、日本語インテンシブ１／２／３／４、言語コミュニケーション科目のスキル・コンテンツ、海外研修科目、研究会Ａ、研究会Ｂ、特別研究プロジェクトＡ／Ｂ、卒業プロジェクト１（メンター変更をした場合のみ）

また、以下の科目は、修得済み科目と、今年度以降に開講される科目名が異なっても同一科目とみなします。

新科目名	旧科目名
生命科学実験の基礎	基礎生命科学実験
イノベーションとマーケティングリサーチ	ＩＴ領域におけるイノベーションの普及とユーザー調査
データビジネス創造Ａ	データビジネス創造
データビジネス創造Ｂ	データビジネス創造
民法（債権）	民法（財産法）
民法（親族・相続）	民法（家族法）
和声学１	音楽基礎
作曲法１	音楽と認知
ビヨンドブロックチェーン基礎	ビヨンドブロックチェーン
ビヨンドブロックチェーン応用	ビヨンドブロックチェーン
バイオインフォマティクスの データサイエンス	基礎バイオインフォマティクス
データ社会とビジネスモデル	知的財産権とビジネスモデル
セキュリティ脅威に対する情報システム 防御基礎演習	ＰＢＬ演習Ｋ
インシデントハンドリング演習	先進ＰＢＬ演習Ｆ
スマートフォンセキュリティ演習	大学院インターンシップＣ
Basic Sec Cap ＰＢＬ演習Ｉ	ＰＢＬ演習Ｉ
Basic Sec Cap 先進ＰＢＬ演習Ｅ	先進ＰＢＬ演習Ｅ
Basic Sec Cap 大学院インターンシップＤ	大学院インターンシップＤ
Basic Sec Cap 大学院インターンシップＥ	大学院インターンシップＥ
地球システムＡ	地球システム

※07学則 からの移行者はこの限りではありません。学事担当窓口で詳細を確認してください。

4　各科目履修申告時の注意事項

⑴　体育　https://wellness.sfc.keio.ac.jp/

①　体育システム

体育科目の予約、体育ノートの提出、レポートの提出を行うシステムです。

②　体育 2・体育 3

「体育 1」を合格した次学期に、必ず「体育 2」「体育 3」を同時に履修申告してください。履修申告画面で、曜日「その他」から、「体育 2」「体育 3」をそれぞれ選択、登録できます。一度履修申告をすると、単位を修得するまで申告が有効となりますので、再度の申告は不要です。

体育システムで出席する授業を予約します。各15回出席し、レポートを提出することが単位修得の条件です。

③　体育 4・体育 5

前学期までに「体育 3」の単位を修得していることが履修の前提条件です。履修申告する場合は、履修申告画面で、曜日「その他」から、「体育 4」「体育 5」を選択、登録してください。一度履修申告をすると、単位を修得するまで申告が有効となりますので、再度の申告は不要です。ただし、体育 4・5 を履修申告した学期以外では履修登録取消はできませんので注意してください。

体育システムで出席する授業を予約します。各15回出席し、レポートを提出することが単位修得の条件です。

⑵　言語コミュニケーション科目　https://language.sfc.keio.ac.jp/

①　資格認定試験（英語、アラビア語、マレー・インドネシア語を除く）

各学期のガイダンス期間に外国語能力を認定する試験を行います。ベーシック 1、インテンシブ 1 以外の科目を履修する場合、受験が条件となる場合があります。日程は前学期末の成績発表日に keio.jpポータルに掲載されるお知らせや言語コミュニケーション科目 Web サイトで確認してください。

②　コンテンツ科目

科目名に「(語圏)」が含まれる科目、および英語や日本語で開講される講義科目の一部は、言語コミュニケーション科目の「〇〇語コンテンツ」として履修ができます。（P.30〈科目および単位数・分野〉参照）

コンテンツ科目として履修した場合、元の科目の分野に関わらず、基盤科目（言語コミュニケーション科目）となります。対象科目のシラバスには、コンテンツ科目の科目名も併記されています。

例：「言語論（ドイツ語圏）」先端科目（総合政策系）
　　「ドイツ語コンテンツ」基盤科目（言語コミュニケーション科目）

ただし、「日本語コンテンツ」として履修するためには、事前に日本語研究室で許可を得なければなりません（履修者選抜とは異なります）。

③　海外研修科目

夏季・春季休校期間中を利用し、現地教育機関等で開講される科目です。A（4 単位）、B（2 単位）、海外で実施するインテンシブ科目（4 単位）があります。詳細は、各言語の Web サイトおよび研究室で確認してください。参加した直後の学期に必ず履修申告を行わなければならず、履修取消はできません。参加直後の学期に休学・留学する場合は、休学・留学申請時に学事担当に相談してください。

④　日本語インテンシブ

日本語インテンシブは 24 単位まで進級・卒業に必要な単位に含めることができます。

⑶　データサイエンス科目

データサイエンス 1 から 2 単位以上修得後、データサイエンス 2 に進むことが推奨されていますが、両方の科目を同時に履修することも可能です。

⑷　情報技術基礎科目　https://itclass.sfc.keio.ac.jp/

「情報基礎 1」は必修です。「情報基礎 1」の単位修得後、レベルに応じて「情報基礎 2」、またはそのほかの情報技術基礎科目を履修できます。

⑸ 研究会

「研究会Ａ」「研究会Ｂ」の２種類があり、教員によってタイプが異なります。

科目名	週当たりのコマ数	単位数	受入人数の目安
研究会Ａ	週２コマ	４単位	35名
研究会Ｂ	週１コマ	２単位	15名

１学期に自由科目での履修を含めて６単位まで履修申告できます。原則２年生から履修できますが、１年生であっても、担当者に特に認められた場合に限り、１学期に１つだけ履修することができます。

シラバスは開講の直前の学期に、その他の講義科目より先んじて公開されます。履修選抜は研究会ごとに実施されますので、シラバスで選抜方法・日程を確認してください。

⑹ 卒業プロジェクト

研究会を中心とするSFCでの学習の成果として、第４学年に「卒業プロジェクト」として論文の執筆や作品の制作などを行います。第４学年１学期目に「卒業プロジェクト1」を、２学期目に「卒業プロジェクト2」を履修し、単位を修得することが卒業要件の１つです。

卒業プロジェクトの担当教員を「卒プロメンター」と呼びます。卒業プロジェクトを履修するためには、所定の期間にメンター申請を行い、承認を受けなければなりません。卒プロメンターとの対話を行いながらプロジェクトを進め、論文や作品など実際の研究成果物を作成し、評価・認定を受けます。

① 指定アスペクト充足（第３学年１学期目まで）

メンター申請を行うためには､メンター申請を行う１学期前（原則第３学年１学期目まで）に卒プロメンターの指定するアスペクトの１つから４単位以上修得している必要があります。また、その他の要件が課されている場合もありますので、早い段階から、アスペクトの充足や要件を満たせるように履修計画を立てましょう。

卒プロメンターの指定アスペクトは、keio.jpポータル、Web上で確認することができます。

② 卒プロメンター申請（原則第３学年２学期目）

第４学年に進級する前々学期末（9月頃、3月頃）から申請手続きが始まります。0次、1次、2次申請はWeb上で手続き、合否確認ができます。申請の詳細はkeio.jpポータル、塾生サイトで案内します。

※０次申請で選抜は行われません。履修登録開始前に希望のメンターを登録し、適宜メンターとコミュニケーションを取りながら、当該学期の履修計画等に役立ててください。

1　メンター申請を行う直前の学期（原則第３学年１学期目）までに、メンターの指定するアスペクトの１つから４単位以上修得していること。

2　その他、メンターの設定する要件を満たしていること。

修正申請は修正申請用紙での手続きとなります。用紙は、keio.jpポータルからダウンロードしてください。

※卒プロメンターが決定した直後の学期に当該教員の「卒業プロジェクト１」を履修しなかった場合､メンター申請の承認は無効となり、再度メンター申請を行う必要があります。

③ 卒業プロジェクト１（第４学年１学期目）

次学期に「卒業プロジェクト2」の成果物を完成させるための計画や準備を行います。「卒業プロジェクト2」を履修するためには「卒業プロジェクト1」の単位を修得しなければなりません。

「卒業プロジェクト1」の単位修得後にメンターを変更した場合は､「卒業プロジェクト１」の再履修が必要です。

「国外留学申請」が教授会で承認され４年生１学期目に留学する学生に限り、留学の前後に必要な手続きを行い承認された場合は､「卒業プロジェクト1」の単位を修得することなく､「卒業プロジェクト2」を履修申告できます。詳細はSFC学事担当に問い合わせてください。

④　**卒業プロジェクト２（第４学年２学期目）**

論文や作品など実際の研究成果物を作成し評価・評定を受けます。「卒業プロジェクト１」の単位を修得した場合に限り履修できます。卒業するためには「卒業プロジェクト2」の単位を修得しなければなりません。

単位を修得するためには、所定の期間に研究成果物を提出しなければなりません。詳細はkeio.jpポータルで案内します。

提出された研究成果物は、原則として塾内で公開されます。合否は「卒業プロジェクト2」の成績を確認してください。

⑺　特別研究プロジェクト

研究会を担当している教員による、学期中ではできないような研究を夏季・春季休校期間中に集中して行う科目です。

参加直後の学期に履修申告を行わなければならず、また履修取消はできません。

１学期に進級・卒業に必要な単位として履修申告できるのは「特別研究プロジェクトＡ」もしくは「特別研究プロジェクトＢ」のいずれか１科目です。複数履修する場合には、２科目以上は「自由科目」として履修してください。

参加直後の学期に休学・留学する場合は、休学・留学申請時に学事担当に相談してください。

⑻　フィールド研究　https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/class/registration/

夏季･春季休校期間中において､個人の研究テーマに関連した国内外での実地調査や研究活動（フィールドワーク）あるいは就業経験（インターンシップ）を行い、進級・卒業に必要な単位とするには、事前に研究計画書類を提出し、活動内容の許可を得なければなりません。活動した休校期間の直後の学期に「フィールド研究1」もしくは「フィールド研究2」の履修申告を行わなければならず、また履修取消はできません。

申請基準、活動時間、課題などの詳細は、上記塾生サイト、keio.jpポータルにて確認してください。

5　総環設置科目以外の履修

⑴　大学院先取り科目（研究科設置科目）

先取り科目として履修が認められている政策・メディア研究科の「プログラム科目」（学部併設科目を除く）、社会学研究科・法学研究科・法務研究科の一部の科目は手続きを経て先取り履修することができます。それぞれ、履修に必要な手続きをしてください。

①　政策・メディア研究科

対象科目：プログラム科目（学部併設科目を除く）

政策・メディア研究科の「プログラム科目」（学部併設科目を除く）を学部在学中に修得し、卒業後に政策・メディア研究科に進学した場合、8単位を限度として政策・メディア研究科修士課程修了に必要な単位に認められることがあります。履修申告の手順は以下の通りです。

1　keio.jpポータルで確認の上、『大学院先取科目履修申請書』をダウンロードします。

2　履修申告画面で、政策・メディア研究科の時間割から科目を探し、A欄のまま登録してください。自動的に「90-09-02自由科目政策・メディア研究科設置科目プログラム科目」となります。政策・メディア研究科に進学後の認定方法など詳細は「大学院ガイド」を確認してください。

3　初回授業で『大学院先取科目履修申請書』に各授業担当者の承認印（署名可）を得て、keio.jpポータルに記載の期日までに学事担当に提出してください。

②　社会学研究科・法学研究科・法務研究科ほか

詳細は各研究科のWebサイトを確認してください。

⑵　国際センター設置短期海外研修科目

国際センターでは、毎年夏季・春季休校期間中に講座を開講しています。

詳細は、国際センターWebサイト（https://www.ic.keio.ac.jp/）より「海外への留学」から「学内機関主催の短期プログラム」を参照の上、各学期始めのプログラムガイダンスにも参加してください。

履修申告画面で、国際センターの時間割の曜日「その他」から科目を探し、A欄のまま登録してください。講座によって履修申告できる分野は異なり、自動的に以下の表の分野が割り振られます。

科目名	分野
オックスフォード大学クライストチャーチ・コレッジ夏季講座	言語コミュニケーション科目（英語）
ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ夏季講座	
ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座	
ノートルダム大学夏季講座	
パリ政治学院春季講座	
シンガポールマネジメント大学春季講座	
シドニー大学春季講座	
タフツ大学春季講座	
オックスフォード大学リンカーン・コレッジ夏季講座	自由科目

※講座の開講有無は年度によって変わります。国際センターWebサイト（http://www.ic.keio.ac.jp）を参照してください。

⑶　学生総合センター設置科目

学生総合センター設置科目「大学生活における責任と危機管理」は春学期・秋学期のWeb履修申告で自由科目として履修申告することができます。授業の詳細は塾生サイトを確認してください。

⑷　教職課程センター設置科目

教職課程センター設置科目のうち、「現代教師論」と「教育基礎論」と「学校カリキュラム論」に関しては、1年生であっても在学2学期目以降であれば授業に参加できます。ただし、具体的にどの授業に参加できるかは年度によって変わりますので、別途掲示等で確認してください（たとえば、「現代教師論」という名称の科目であっても、特定の学期・曜日・時限の授業以外は参加不可）。なお、湘南藤沢キャンパス在籍者が1年生でこれらの科目を履修する場合は、原則として授業に参加するその学期に履修申告を行う必要があります。

教職課程

教員免許状を取得するためには、教職課程を履修しなければなりません。ガイダンス期間に教職課程センターが実施する各種ガイダンスに出席し、「教職課程履修案内」を熟読の上、履修してください。

SFC で取得が認められている免許状の種類および教科は、以下のとおりです。

総合政策学部	総合政策学科	中学校　1種	社会
		高等学校　1種	公民
環境情報学部	環境情報学科	高等学校　1種	情報

※他学部で認められている教科についても取得できる場合があります。

①　教職課程への登録

原則として第２学年以降の４月の所定期間に登録します。登録方法は教職課程ガイダンスで説明します。

②　履修申告

教職課程センター設置科目については、春学期開講の四半期科目、半期科目および通年科目については、春学期の履修申告期間に、秋学期開講の四半期科目、半期科目については秋学期の履修申告期間に登録を完了してください。

免許状取得に必要な科目は相当広範にわたるので、計画的に履修することが肝要です。

③　2022 年４月に入学した第１学年を対象とした科目の先取りについて

第２学年で教職課程へ登録する前に、一部の教職課程センター設置科目において履修を認めます。４月入学生に対しては詳細を年度初めに実施する、新入生向け教職課程ガイダンスで説明します。

④　事務取扱窓口

質問内容	窓口	質問内容	窓口
履修申告 ※クラス分け科目についての質問のみ、ＣＤＰオフィス	学事担当	教職課程登録	ＣＤＰオフィス
		教職課程ガイダンス	
		介護等体験	
		実力テスト	
成績、進級・卒業条件		教育実習	
休講、補講、時間割変更		教職免許一括申請	
証明書		その他不明な点	

⑸　鶴岡工業高等専門学校・山形大学農学部設置科目の単位互換

詳細は keio.jp ポータルから確認してください。

⑹　国際基督教大学設置科目の単位互換

詳細は keio.jp ポータルから確認してください。

⑺　他学部・諸研究所等設置科目

注意

他学部・諸研究所設置科目の履修申告方法・時期は総合政策学部・環境情報学部設置科目と異なる可能性があります。他学部・諸研究所等設置科目を履修する際は十分に注意してください。

①　履修可能な科目

必ず事前に各学部の履修案内・講義要綱・シラバスを確認した上で、以下の ２つの条件をすべて満たした科目に限り、履修が可能です。

1　科目を設置している学部が他学部生の履修を制限していないこと

各学部が定める「他学部他研究科学生の履修を制限する科目（学部）」の一覧に掲載されている科目は履修できません。各学部の履修案内も併せて塾生サイトや keio.jp ポータルに掲載されているので確認してください。

所属・学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくても履修できません。また、学部によっては、この一覧に未掲載の科目の履修を制限する場合や、他学部生は自由科目としてのみ履修を認める場合があります。シラバス、塾生サイト、keio.jp ポータル、各学部の掲示等で各自情報を収集してください。

2　授業担当者の許可を得ること

必ず初回の授業に出席し、初回授業で授業担当者に許可を得てください。初回授業が休講の場合や、秋学期開講科目で春学期に履修許可を得られない場合、開講される第 1 回目の授業で許可を得てください。

②　履修申告

①に示した履修可能な科目のみ履修申告することができます。正しい分野（P.15〈分野〉参照）を選択し、必ず履修申告期間中に申告をしてください。

※他学部・諸研究所等設置科目の履修に関する詳細については keio.jpポータルで案内します。

※春学期に履修申告をした秋学期開講の他学部・諸研究所等設置科目を削除できるのは秋学期履修取消期間となります。SFC のクラス指定科目や必修科目等との重複が発生した場合は、やむをえない事情があると認められた時に限り、状況に応じて修正が認められることがあります。履修申告期間が終了するまでに学事担当まで申し出てください。

※一部の科目はWebでの履修申告ができない場合があります。余裕をもって申告し、エラーが出た場合は履修申告期間中に、SFC 学事担当に確認してください。履修申告期間終了後の問い合わせは受け付けません。

③　分野

正しい分野を選んで申告しなければなりません。P.15〈分野〉を参照してください。

④　履修学年

他学部では履修学年を明確に指定している科目がありますので、その指定に従ってください。特に三田・矢上設置科目は 3 年生以上が履修可能となります。（ただし、三田・文学部は 2 年生以上）

日吉設置共通授業科目は、所属学部ごとに履修可能な学年が異なる場合があります。履修する科目の主学部（科目取りまとめ学部）の時間割から、自身の学年の時間割（1 年生の場合、1 年生用の時間割）を確認してください。

⑤　時間上の制約

SFCと他キャンパスの科目（東宝ビルでの開講科目含む）を連続する時限に履修することはできません。1 時限分以上間隔をあけなければなりません。

⑥　通年科目・セット科目の履修単位・成績

通年科目はその単位を 2 等分したものを春学期と秋学期の履修上限単位に加算します。年度末（秋学期末）に成績がつき、分割して単位を認定することはありません。

セット科目は、春学期･秋学期を通じて開講される科目です。半期のみの履修は不可で、年度末（秋学期末）に一括して成績がつきます。ただし、同一学期内にまとめて開講される場合は、当該学期末に一括して成績がつきます。

⑦　履修取消

履修取消については、通年科目・セット科目・春学期開講科目は春学期、秋学期開講科目は秋学期の取消期間となります。ただし、各学部が定める「他学部他研究科学生による履修取消が認められない科目（学部）」に掲載されている科目は履修取消できません。 塾生サイトに掲載されている各学部の履修案内を併せて確認してください。

また、秋学期の履修申告・履修申告修正期間に、春学期に履修申告済みの通年科目および秋学期開講科目の修正・削除はできません。

他学部・他研究科生による履修登録取消が認められない科目（学部）

最新情報を必ず以下の塾生サイトで確認してください。

https://www.students.keio.ac.jp/com/class/registration/other-faculties.html

【注意事項】

1．個々の授業によって履修取消の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してくだ

さい。

2．新規に履修取消が制限される場合がありますので，最新情報を掲示等で必ず確認してください。

3．履修する分野や所属学年による制限もありますので，注意してください。

⑻ 研究所・センター設置科目

各研究所・センター設置科目の履修分野は下記の通りです。履修に際しては必ず該当する履修分野の項も確認してください（P.15）

※　履修申告は、他学部設置科目と同様に行ってください。

※　下表に該当する科目でも、他学部の時間割の同一時限に同一教員の授業がある（他学部と併設している）場合は、他学部設置科目として履修することもできます。(分野も異なります。[例]日吉設置の福澤研究センター「近代日本と福澤諭吉」は経済学部の総合教育科目として日吉の時間割に掲載されています)。

科目設置研究所・センター	分野
国際センター	04-01-01　他学部等設置科目 90-01-02　自由科目その他
GIC センター	
教養研究センター	90-01-02　自由科目その他
福澤研究センター	
外国語教育研究センター	
言語文化研究所	
斯道文庫	
保健管理センター	
メディア・コミュニケーション研究所	
グローバルリサーチインスティテュート	
体育研究所	
教職課程センター	
学生総合センター	
ミュージアム・コモンズ	
アート・センター	

6　その他

「学部・大学院修士 4 年一貫教育プログラム」に参加している学生は履修上限単位が 24 単位となります。履修申告開始前に SFC 学事担当から届くメールにしたがって手続きをする必要があります。

第3 カリキュラム、進級・卒業条件

在学生に適用される学則

在学生には14学則が適用されます。2018年度まで07学則が適用されていた学生は14学則へ移行されました。

2014年の春、総合政策学部・環境情報学部のカリキュラムがあたらしくなりました。SFCは、1990年に開設されてから2020年で創立30年をむかえましたが、その間、何度かカリキュラムが変わってきました。それは、私たちのキャンパスが、「ないものはつくる」という「実験する精神」によってかたどられていることの証です。変化を怖れず、多様化・複雑化する問題に向き合いながら、カリキュラムそのものをバージョンアップすることで、動きのある、実学を志向した知的探究が可能になると考えているからです。

これまでのカリキュラム改訂のなかで、開設時から変わっていないのが、「研究会」を中心に、学生が自らの学びをデザインするという点でしょう。「研究会」は、教員や仲間とともに自由闊達に語り、教え合い、積極的に現場に関わりながら問題に取り組むための場です。1年生から「研究会」に所属できるのも、SFCのカリキュラムのユニークなところです。SFCには、100を超える「研究会」があり、そのひとつひとつは、個性ある考え方や方法にもとづいて活動しています。「研究会」での活動は、SFC生としての集大成である「卒業プロジェクト」へと連なるもので、自分の価値観を再編成し、人間的な成長を促す機会にもなります。

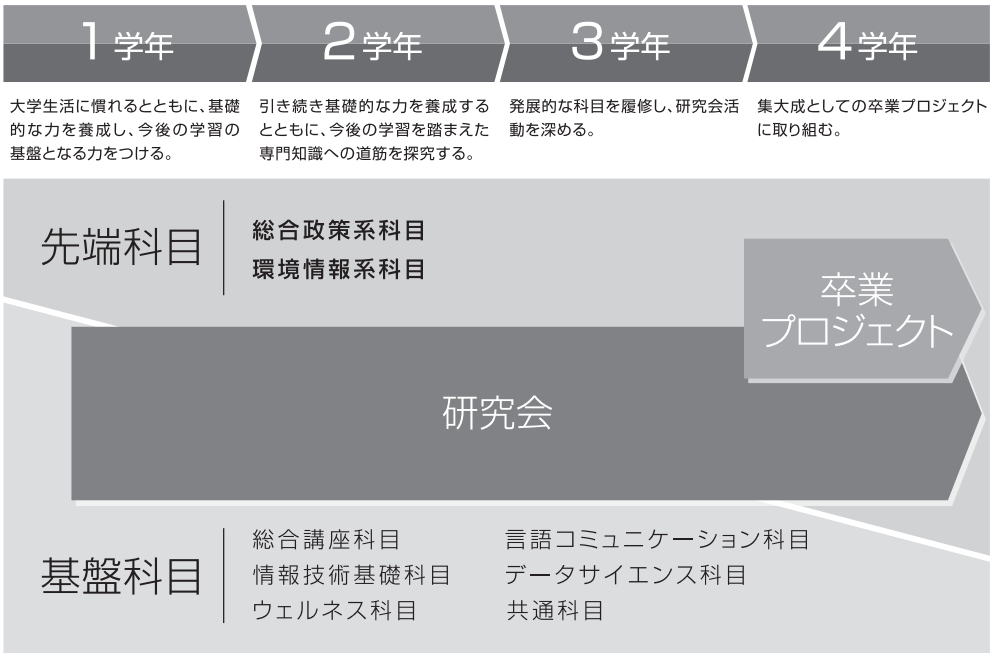
あたらしいカリキュラムでは、「研究会」を中心に据えながら、すべてのSFC生に必要だと思われるコミュニケーション能力や情報処理技術、調査研究の方法、さらには健康な心や身体をつくるということの重要性を、あらためて際立たせました。「実験する精神」を体得しつつ、入学してからできるだけ早い段階で自分の可能性を知り、自分にふさわしいと思える「研究会」に出会えるような仕組みも用意しました。また、開講形態の多様化についても、積極的にすすめていきます。たとえば短期集中型の開講形態を設けることによって、より豊かな学びの場が提供されるばかりでなく、4年間という学生生活のあり方をより柔軟に計画できるようになります。当然のことながら、慶應義塾の他キャンパスはもとより、国内外をふくめ、SFCの「外」で学ぶチャンスも開かれています。

まずは、あたらしいカリキュラムの成り立ちと考え方を理解し、自分自身の履修計画を立ててみましょう。

1　カリキュラム

⑴　カリキュラムの全体像

SFC のカリキュラムは「研究会」と「卒業プロジェクト」を中心に据え、これらに向けた導入や強化のための授業科目群によって構成されています。



⑵　科目群の趣旨と概要

①　研究プロジェクト科目

カリキュラムの中心に位置づけられています。「研究プロジェクト中心」のコンセプトを実践するためにも、是非入学後の早い段階から様々な研究プロジェクトに触れ、情熱を持って取り組める研究テーマをみつけてください。

a　研究会

研究会の履修を通じて「卒業プロジェクト」に向けて、教員と学生が共に考えながら、多様な課題に取り組んでいきます。SFC では「問題が与えられ、正解を教わる」のではなく「何が問題かを考え、解決方法を創出する」ことができる、「未来の先導者」を育成、輩出することをめざしています。それを実践するための「研究会」は単なるゼミのような勉強グループではなく、企業との共同研究や官公庁からの委託研究など、先端的な研究活動が数多く行われています。それらに参加して実社会の問題に取り組むことによって高度な専門性を身につけ、自らの「未来創造の成果」として、また、自らが未来へ前進するときの「自分自身のプロポーザル」として、卒業プロジェクトを作成します。そのため、両学部ともカリキュラムの核となるのは「研究会」です。原則として、2 年生から学期（春学期、秋学期）毎に 6 単位を上限として研究会を履修できますが、本人の能力次第では 1 年生からでも履修できます。

b　卒業プロジェクト

「研究会」を中心とする学習の成果として、すべての学生は、卒業までに、論文の執筆や作品の制作などを行います。これまで培ってきた創造性と先端性を駆使し、卒業に向けて、研究成果を生み出すプロジェクトを自ら推進するものです。研究成果の形態は、論文の執筆や作品の制作のほか、研究の成果としてふさわしいものが求められます。卒業プロジェクトは、自らの研究として取り組んできた各種プロジェクトをまとめ上げる段階であり、通常は 2 学期間以上かけてメンターとの対話を行いながら進め、論文や作品など実際の研究成果物を作成し、評価・認定を受けます。

② 基盤科目

学部を問わず、すべてのSFC生が学ぶべき「基盤」を培うための科目です。入学後の早い段階から「研究会」や「卒業プロジェクト」に必要な言語・思考法・技法等を意識しながら履修計画を立てられるように、学びを支援します。一部の「基盤科目」は必修・選択必修科目に指定されており、これらの科目履修を導入として、一人ひとりの関心領域に応じて継続的に「基盤」の強化をすすめていくことが期待されています。

a 言語コミュニケーション科目 https://language.sfc.keio.ac.jp/

言語コミュニケーション重視の観点から言語教育に力を入れており、英語のみならず、マレー・インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、日本語が開講されています。少人数で週4コマ集中して習得していく「インテンシブ」で実力を培い、テーマ別授業の「スキル」や、現場を体験する「海外研修」でそれを補えば、本物の外国語能力、言い換えれば、文献読破や論文執筆、討論や交渉、フィールドワークやプレゼンテーションで活用できるような、高度の外国語能力を身につけることができます。

b データサイエンス科目

いくつもの分野に広く応用できる共通の基礎技法を習得するための科目であり、データの獲得・編集・分析手法とモデリング・シミュレーションおよび論理・確率・代数などの数理科学について学びます。

c 情報技術基礎科目 https://itclass.sfc.keio.ac.jp/

コンピュータを創造的に使いこなすために必要となるプログラミング能力を養います。情報技術の本質を理解し活用できるようになるための基礎となります。

d ウェルネス科目 https://wellness.sfc.keio.ac.jp/

問題発見および解決型学習を通じた心身の融合と人間的成熟を目指し、「気づく・探す・深める・伝える」を基本理念とした実践の場を提供します。

「体育1」では様々な背景を持つ学生同士が身体運動を通じて互いに交流を深め、クラスという集団の中で個の発見を目指します。「体育2～5」では自主的に種目を選択し、新たな自己発見、身体知の探索と伝承、人間的成長を促します。実技のみならず座学による実践的な知を獲得することも特徴です。

③ 先端科目

「基盤」となる科目を履修しながら、「研究会」「卒業プロジェクト」へと導く科目です。「先端科目」は、より具体的に調査研究に接近し、「研究会」「卒業プロジェクト」の前提となる専門的・先端的な科目によって構成されます。「卒業プロジェクト」を指導する教員の専門性や調査研究へのアプローチ等に則して、具体的な履修計画を立てやすいよう、ガイドする「アスペクト」という仕組みがあります。

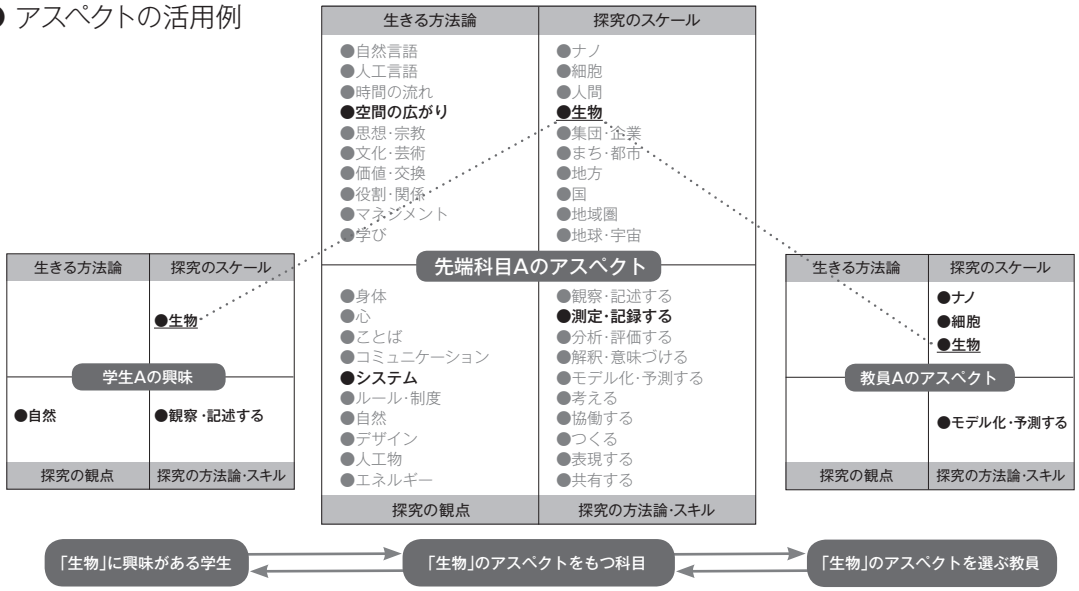
⑶ アスペクト

① アスペクトとは

SFCでは、幅広い学術領域にわたって、毎学期数多くの授業科目が開講されています。学生は、学年などの制約をあまり受けることなく、自由に履修する科目を選ぶことができますが、科目が多すぎて、本当に自分にフィットする科目を見つけられないこともありえます。

アスペクトは、授業科目と研究会の結びつきを、研究や授業を構成する諸側面(アスペクト)に分解して「見える化」したものです。アスペクトを道標にして、これまでは視野に入ってこなかった研究会や科目を「発見」することができるよう工夫されています。

● アスペクトの活用例



② アスペクトの種類と活用法

生きる方法論	探究のスケール	探究の観点	探究の方法論·スキル
●自然言語	●ナノ	●身体	●観察·記述する
●人工言語	●細胞	●心	●測定·記録する
●時間の流れ	●人間	●ことば	●分析·評価する
●空間の広がり	●生物	●コミュニケーション	●解釈·意味づける
●思想·宗教	●集団·企業	●システム	●モデル化·予測する
●文化·芸術	●まち·都市	●ルール·制度	●考える
●価値·交換	●地方	●自然	●協働する
●役割·関係	●国	●デザイン	●つくる
●マネジメント	●地域圏	●人工物	●表現する
●学び	●地球·宇宙	●エネルギー	●共有する

「研究会」を担当する教員は、4グループ、計40アスペクトから、研究領域の関連するアスペクトを複数指定しています。また、先端科目、および一部の基盤科目には、その科目を特徴づけるアスペクトが複数選択されています。教員、科目のアスペクトは、Web上で参照できます。

「教員－アスペクト－科目」のつながりや、アスペクトが共通する科目同士、教員同士のつながりを探すなど、履修科目や研究会を選ぶ際に「アスペクト」を活用しましょう。

③ 卒業プロジェクトとの関わり

「卒業プロジェクト」のメンター申請を第3学年2学期目に行うためには、直前の学期（第3学年1学期目）までに、メンターの指定するアスペクトを充足しなければなりません。詳細はP.19, 20〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

⑷ 学部・大学院修士４年一貫教育プログラム

「学部・大学院修士4年一貫教育プログラム」とは、4年間で、総合政策学部または環境情報学部の学士号と、大学院政策・メディア研究科の修士号の2つの学位を取得できるプログラムです。学士および修士の標準修業年限は、学士課程4年＋修士課程2年の計6年間ですが、このプログラムに参加することで、学士および修士の2つの学位を、学士課程3年＋修士課程1年の計4年間で取得できる道が開けます。詳細はkeio.jpポータル、塾生サイトでお知らせします。

⑸ 3.5 年早期卒業制度

卒業要件を満たしたうえで、優秀な学業成績など優れた成果を挙げた者が 3.5 年（7 学期）在学すれば卒業できる制度です。9 月入学者の 4 月就職、4 月入学者の海外大学院進学などを支援することを目的としています。詳細は keio.jpポータル、塾生サイトでお知らせします。

⑹ 在学期間延長制度

4 年生が卒業に必要な単位を満たした場合でも、在学期間延長を申請し許可を得られれば、学部学則第 156 条で定められた在学期間の上限内で引き続き 2 学期まで在学することができます（学部学則第 169 条）。ただし、学費は全額納入しなければなりません。詳細は keio.jpポータル、塾生サイトでお知らせします。

⑺ GIGA プログラム (Global Information and Governance Academic Program)

総合政策学部、環境情報学部の学生は、学部や学年、入試形態にかかわらず GIGA プログラムの科目を履修できます。また、あらかじめ申請を行うことで GIGA プログラム生となり、塾生サイトに記載の要件を満たすことでサティフィケート（プログラム修了証）を取得することができます。詳細は keio.jpポータル、塾生サイトでお知らせします。

⑻ パースペクティブ

2017 年度より、分野横断的な学びをガイドする「パースペクティブ」という仕組みを導入しました。個別具体的な問題や専門分野に集中して深く掘り下げていく研究会での学修などで視野から外れがちな、その周辺に広がっている学術的な知見・活動の広がりをガイドすることを目的としています。

「ヘルスサイエンス（HS）」「エビデンスベースドアプローチ（EBA）」「スチューデントビルドキャンパス（SBC）」の 3 つをはじめとして、さらに多様な領域へ拡大していきます。詳細は塾生サイトをご覧ください。

https://www.students.keio.ac.jp/sfc/pmei/class/registration/perspective.html

(4) 科目および単位数・分野

※科目種類（詳細）内の<>は、カリキュラムコードを示します。全ての科目にコードが付されています。各科目のコード (### の部分) はシラバスを確認してください。

種類	（詳細）	分野	科目名 ( ) 内は単位数　記載のない科目は全て 2 単位	必修単位数		選択単位数
基盤科目	総合講座科目 <B1###>	01-01-01	総合政策学(1)　環境情報学(1)　慶應義塾入門	1 ※1	30	60
	言語コミュニケーション科目 <B2###>	01-02-01	SFC 実践英語入門(4)	8（少なくとも一語種で4単位）		
		01-02-02	英語（プロジェクト英語Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
			一部の国際センター設置短期海外研修科目 ※2			
		01-02-03	朝鮮語（ベーシック１・２　インテンシブ１(4)・２(4)　スキル　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
		01-02-04	中国語（ベーシック１・２・３　インテンシブ１(4)・２(4)・３(4)・４(4)　スキル　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
		01-02-05	マレー・インドネシア語（ベーシック１・２　インテンシブ１(4)・２(4)・３(4)　スキル　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
		01-02-06	アラビア語（ベーシック１・２　インテンシブ１(4)・２(4)・３(4)　スキル　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
		01-02-07	ドイツ語（ベーシック１・２　インテンシブ１(4)・２(4)・３(4)　スキル　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
		01-02-08	フランス語（ベーシック１・２　インテンシブ１(4)・２(4)・３(4)・４(4)　スキル　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
		01-02-09	スペイン語（ベーシック１・２　インテンシブ１(4)・２(4)・３(4)・４(4)　スキル　コンテンツ　海外研修 A (4)・B）			
		01-02-10	日本語（ベーシック１·２·３·４　ベーシック１（演習）(1)·２（演習）(1)·３（演習）(1)·４（演習）(1)　インテンシブ１(4)·２(4)·３(4)・４(4)　スキル　コンテンツ）　インテンシブ初級１(4)　インテンシブ初級２(4)　※４			
		01-02-11	ロシア語（ベーシック１・２）			
		01-02-12	イタリア語（ベーシック１・２）			
	データサイエンス科目 <B3###>	01-03-01	【データサイエンス 1】 統計基礎　確率　微分・積分　線形代数	2		
		01-03-02	【データサイエンス 2】 経済・ファイナンスのデータサイエンス　情報と社会のデータサイエンス　ビジネスのデータサイエンス　医療・健康のデータサイエンス　環境ガバナンスのデータサイエンス　生命動態のデータサイエンス　スポーツのデータサイエンス　国際社会のデータサイエンス　問題発見・解決のための数学リテラシー　統計解析　ベイズ統計　数理モデル　最適化の数理　数理解析　生命科学実験の基礎　認知科学のデータサイエンス　バイオインフォマティクスのデータサイエンス　アルゴリズムサイエンス（2022 年度以降）	2		
	情報技術基礎科目 <B4###>	01-04-01	情報基礎１　情報基礎２　システムプログラミング基礎　オブジェクト指向プログラミング基礎 スクリプト言語プログラミング基礎	4		
	ウェルネス科目 ※5 <B5###>	01-05-01	心身ウェルネス(1)　体育１(1)	2（各1）		
		01-05-02	体育２(1)　体育３(1)	2（各1）		
		01-05-03	体育４(1)　体育５(1)			
	共通科目 <B6###>	01-06-01	地理学基礎　物理・化学基礎　未来構想ワークショップ　新事業創造ワークショップ　政策デザインワークショップ　リーガルワークショップ　電子おもちゃ設計ワークショップ　ゲノム解析ワークショップ　センシング技術ワークショップ　音楽基礎　学びのデザインワークショップ　ＩＣＴと学習環境ワークショップ　ことばと文化の学習デザイン　コラボレーション技法ワークショップ(4)　ライティング技法ワークショップ　オーラルヒストリーワークショップ　翻訳実践ワークショップ　科学ライティングワークショップ　アカデミックライティング実践　企業経営ライティングワークショップ　多言語コミュニケーション実践　対人コミュニケーション実践　相互交流と間主観性　集団コミュニケーション実践　多文化コミュニケーション　ネットワークコミュニケーション実践　デザイン言語実践(4)　デザインスタジオ基礎(4)　デジタルデザイン基礎(4)　公共政策　リーガルマインド　ソーシャルイノベーション　都市と地域の未来　ヒューマンセキュリティ　スポーツビジネス　グローバルガバナンス　多言語社会コミュニケーション　言語コミュニケーション論　第二言語としての日本語教育　言語と認知　都市と建築の歴史　空間情報発想　地球システム　地球環境技術論　ソシオセマンティクス　モノ創りの科学　インターネット　身体知論　心のオシャレ学　デザイン言語総合講座　NPO の設立と経営　ベンチャー経営論　財務・ビジネスプラン構築技法　ソーシャルビジネスプラニング　経営戦略　組織戦略（組織行動）　組織戦略（組織設計と変革）　マーケティング戦略　パブリックリレーションズ戦略　リーダーシップ論　戦略的交渉論　組織コミュニケーション　ヒューマンキャピタル論　研究開発と組織　リスクマネジメント　コンサルティング技法　プレゼンテーション技法　アカデミックプレゼンテーション実践　アカデミックライティング　ビジュアライゼーション　出版編集技術　リーガルライティング　契約ワークショップ　立法ワークショップ　立法技術論　政策法務論　金融経済ゲーミング　ゲーム理論　組織経営の会計　企業会計論　経営分析　仕事と社会　キャリア開発論　ライフキャリア論　プロフェッショナルエシックス　意思決定能力の開発　企業インターンシップ(4)　非営利組織インターンシップ(4)　社会起業インターンシップ(4)　生活者の社会参加　教育評価・開発論　シンキングプロセスデザイン　パターンランゲージ　デザインスタディーズ　建築生産とデザイン　コンピュータミュージック１　コンピュータミュージック２　ソフトウェア工学　プログラミング方法論　モノ創り実験工房(4)　電子工作　プロダクトデザイン基礎　デザイン観察基礎　情報デザイン基礎　ミュージアムデザイン基礎　アルゴリズミックデザイン　デジタルメディアと映像表現　ファッションデザイン　デザインリサーチ　音楽と認知　デジタルサウンドコンポジション１　質的調査法　インタビュー法　フィールドワーク法　データ獲得法　資料検索法　論理学　創造社会論　創造システム理論　ワークショップデザイン　芸術と科学　身体論　方法論探究　サブカルチャーと社会認識　日本研究概論１　日本の近現代　法律学　科学史　イスラームと現代社会　認知科学　脳と行動　感覚の生理と心理　パーソナリティ発達論　一般意味論　プログラミング言語総合講座　アナログ・デジタル電子回路基礎(4)　ネットワークアーキテクチャ　ソフトウェアアーキテクチャ　ユビキタスシステムアーキテクチャ　データベース概論　Web デザインとマネジメント　Web テキスト処理法　ソフトウェア開発実践(4)　情報数学　情報経済学　認知学習論　第二言語習得論（2020 年度まで）　人工知能論　自然言語論　ブランディングデザイン　生命システム　生命現象と現実社会の比較論　ヘルスリサーチの基礎　代謝の基礎生物学　人体の構造と機能　人体の健康と病理　バイオシミュレーション１　基礎分子生物学１(1)　基礎分子生物学２(1)　基礎分子生物学３(1)　基礎分子生物学４(1)　情報通信システム基礎　日本の行政機構　パーソナルプレイスデザイン　マッピングイメージデザイン　イスラーム世界入門　基礎バイオインフォマティクス　トップスポーツ論　和声学１　和声学２　作曲法１　作曲法２　第二言語習得と外国語教育入門（2020 年度まで）　音楽と文化　日本の諸音楽（2019 年度まで）　企業経営　世界史のなかの日本　音楽史　アルゴリズムサイエンス（2021 年度まで）　公共哲学　政策形成とメディア　現代アート概論　建築CAD入門　公共哲学実践　選択と自由			

※１　総合政策学部所属の学生は「総合政策学」、環境情報学部所属の学生は「環境情報学」がそれぞれ必修科目
※２　P.21 <国際センター設置短期海外研修科目>参照
※３　「卒業プロジェクト２」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト１」の単位を修得しなければならない
※４　日本語インテンシブは 24 単位まで進級・卒業に必要な単位に含めることができる
※５　各学期の履修上限単位（20 単位）外で履修可能
※６　60 単位まで卒業に必要な単位に含めることができる
※７　20 単位まで卒業に必要な単位に含めることができる
※８　P.15 <分野>、P.16 <自由科目>、P.22 ～ 24 <他学部・諸研究所等設置科目><研究所・センター設置科目>参照

種類	（詳細）	分野	科目名・種別
自由科目	<Z1###>	90-01-01	データサイエンス基礎
		90-01-02	その他（自由科目で履修）　※8
	政策・メディア研究科設置科目	90-09-02	プログラム科目

種類	（詳細）	分野	科目名 ( ) 内は単位数　記載のない科目は全て 2 単位	必修 単位数	選択 単位数
先端科目	総合政策系 <C1###>	総合政策 学部生 02-01-01 環境情報 学部生 02-02-01	古典と現在　近代史　近代思想の世界　現代思想の世界　文学の世界　歴史と文明　社会起業論　パブリックマネジメント　社会保障政策（医療・介護）　社会保障政策（年金・労働・福祉）　社会安全政策（治安）　社会安全政策（防災）　現代社会理論　社会構造分析　社会関係分析　イノベーションダイナミクス　ネットワーク分析　ネットワーク政策　ネットワーク文化　マスコミュニケーション　消費とライフスタイル　リスク社会の制度設計　都市システム論　地域政策　社会動態論　地域計画実践論　まちづくり論　都市計画とまちづくり　社会的組織の経営（ヘルスケア）　社会的組織の経営（ミュージアム）　社会的組織の経営（スポーツビジネス）　ソーシャルマーケティング　コミュニティインベストメント　パブリックガバナンス　非営利・公会計論　コーポレートガバナンス　情報技術とマーケティング　ネットワーク産業論　ネットワーク社会論　ポピュレーションダイナミクス　表象文化論　文化政策　科学技術政策　国土政策　環境政策　企業の社会的責任と社会・経済の活性化　知識産業マネジメント　地域医療システム　エビデンスに基づく健康政策とコミュニケーション　現代政治論　政治制度論　地方自治論　法と社会　憲法（人権）　憲法（統治）　民法（財産法）　民法（家族法）　企業法（会社法）　企業法（ベンチャー関連法）　刑法　行政法　情報法　実験・行動経済演習　ミクロ経済１　ミクロ経済２　マクロ経済１　マクロ経済２　ストック経済論　計量経済学　現代金融論　政策立案論　政策過程論　地方政府動態論　行政法演習　民法演習　企業法演習　知的財産権論　公共選択論　経済政策　財政政策（国家）　財政政策（地方政府）　経済分析演習　計量ファイナンス　プロジェクト評価論　ファイナンス論　リスクと保険　国際関係論　国際政治経済論　外交と戦略　安全保障と国際紛争　国際機構論　国際開発論　地域開発論　国際環境論　国際金融論　国際企業論　国際法　国際コミュニケーション　日本研究概論２　アジアワークショップ　地域と社会（アジア・大洋州）　地域と社会（欧州・ＣＩＳ）　地域と社会（米州）　地域と文化（アジア・大洋州）　地域と文化（欧州･ＣＩＳ）　地域と文化（米州）　宗教と現代社会　言語とヒューマニティ　言語と教育　言語論（ドイツ語圏）　言語論（フランス語圏）　グローバルエコノミー論　国際協力政策　地球環境政策　安全保障政策　地域論（ドイツ語圏）　地域論（フランス語圏）　アジア・大洋州地域論　韓国地域論　インドネシア地域論　社会論（ドイツ語圏）　社会論（フランス語圏）　韓国社会論　マレー社会論１　マレー社会論２　開発とローカリズム　持続可能システム論　地球環境法　メディア論（ドイツ語圏）　芸術文化論（フランス語圏）　現代文化探究（朝鮮語圏）　イスラームとイスラーム圏　インドネシア文化論　文化論（ドイツ語圏）　文化論（フランス語圏）　文化論（中国語圏）　韓国文化論　多文化社会論　国民国家とナショナリズム　比較体制論　日独社会研究（ドイツ語圏）　言語政策論（フランス語圏）　言語教育実践論（中国語圏）　言語動態論　応用臨床心理　イスラーム法概論　政治哲学（近代）　政治哲学（現代）　国家と防衛　GLOBAL HUMAN RIGHTS AND JAPAN　多国籍経営論　民法（総則・物権）　民法（債権）　民法（親族・相続）　地域と文化（スペイン語圏）　アイヌの言語と文化（2018 年度以降）　地域と社会（中東）　ポリシーマネジメント（開発とヒューマンセキュリティ）　教育・スポーツ政策　音楽の進化　改革とイノベーション　日米関係史　情報通信技術展開政策　科学倫理　スポーツマネジメント　第二言語習得論（2021年度以降）　第二言語習得と外国語教育入門（2021年度以降）　社会科学のための計量分析　地域と文化（アラビア語圏）	30	60
	環境情報系 <C2###>	総合政策 学部生 02-02-01 環境情報 学部生 02-01-01	現代技術と社会　社会と資源　都市と環境　デザインと情報技術　エコロジカルデザイン　生活環境論　エネルギー環境論　生態学フィールド調査法　地球環境概論　ランドスケープエコロジー　環境センシング論　環境リスク科学　環境保全計画論　環境対応プラクティス　エコシステム評価論　自然環境論　地球システム設計論　デザインスタジオ（住まいと環境）(4)　デザインスタジオ（自然と建築）(4)　デザインスタジオ（都市と建築）(4)　建築設計と環境デザイン　建築構法論　アーバンルーラルリデザイン　スポーツコミュニケーション　スポーツ科学　認知科学ワークショップ　知覚・認知モデル論１　知覚・認知モデル論２　構成的認知論　インプレッションマネジメント　認知心理学　応用認知科学　脳情報科学　言語と思考　生命と知能の進化　基礎生命科学実験　遺伝子工学実習(4)　遺伝子解析実習(4)　基礎分析化学(1)　基礎生化学(1)　分子健康科学ワークショップ　基礎動物実験１(1)　基礎動物実験２(1)　分子栄養学と健康　細胞レベルの生命科学による革新　医食農同源社会の実現　東西医療の融合　バイオシミュレーション２　イメージと精神分析　身体運動解析(4)　スポーツエンジニアリング　スポーツバイオメカニクス　心的環境論　知覚運動スキル論　ヒューマンセンタードデザイン　語彙意味論　認知言語論　質量分析(1)　生命分子構造(1)　生命分子機能(1)　プロテオミクス(1)　代謝システム工学(1)　ゲノム分子生物学１　ゲノム分子生物学２　メタボロミクス(1)　メタボローム解析実習　プロテオーム解析実習　代謝システム工学実習　生命物理科学　メディアの変遷と未来　ヒューリスティックコンピューティング　システムプログラミング　スマートデバイスプログラミング　関数型プログラミング　デザインとプログラミング　画像処理プログラミング　グラフィックスプログラミング　空間分析(4)　データベース構築法　第一次産業と情報　ＩＴ政策と技術　環境エネルギー情報論　インターネット計測とデータ解析　量子情報処理　自律・分散・協調　コンピュータアーキテクチャ　オペレーティングシステム　大規模データ処理法　インターネットの設計と運用　情報通信セキュリティとプライバシー　情報と倫理　知識処理論　パターン情報論　インタフェース設計論　ユーザビリティ評価論　モバイルネットワーク論　ユビキタスサービス論　情報セキュリティマネジメント　Web 情報システム構成法　組み込みシステム構成法　プログラミング言語論　言語システム構成法　モノと情報　リフレクティブデザイン　プログラマブルマテリアル　ドキュメンタリー・ストーリーテリング　デジタルファブリケーション　インタラクションデザイン　コンピュテーショナルデザイン　デジタルサウンドコンポジション２　視覚メディア表現　オープンデザイン戦略　オープンデザイン実践　CG と CAD の数理　ヒューマンコンピュータインタラクション　未踏領域のデザイン戦略　運動の生理と心理　極限環境デザイン　ノーテーションと表現　分子健康科学ワークショップ応用　音楽と脳　デジタル信号処理の基礎　触覚と社会　フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング（上流）　フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング（下流）　触覚の科学と技術　音楽と心・身体　大規模データシステム論　複雑系の科学　日本の諸音楽（2020 年度以降）　データ× AI・アート・デザイン時代のテキスト処理　地球システム A　地球システム B　実践的メンタルヘルス　感情と行動のコンピューティング		
研究プロジェクト科目 <A1###>		03-01-01	研究会 A(4)　研究会 B	2	
		03-01-02	卒業プロジェクト１　卒業プロジェクト２ ※3	2（卒プロ2）	
		03-01-03	特別研究プロジェクト A(4) ※4　特別研究プロジェクト B ※4　フィールド研究１　フィールド研究２		
他学部等設置科目 ※6		04-01-01	（B 欄「21」他学部等設置科目で履修）		
教職課程教科に関する科目　<Y1###>		05-01-01	日本史概説　世界史概説		
特設科目 ※7 <X1###>		60-01-01	山形文化論　科学技術とジャーナリズム　アントレプレナー概論１　アントレプレナー概論２　知的財産権とビジネスモデル　革新的ネットサービスの構築　地域協働とフィールドワーク　21 世紀の企業の挑戦　囲碁　グローバルサイエンスとイノベーション　TECHNOLOGY IN EDUCATION, EMERGENCE OF A GLOBAL CURRICULUM　交通安全文化論　環境ヘルスサイエンス　うた　電子出版　電池社会　リーダーシップ開発のためのコーチング　ＩＴ領域におけるイノベーションの普及とユーザー調査　フォレスト・プロダクツ論　未来創造塾入門　データビジネス創造　エクスペエリエンス・アンド・エンゲージメント・デザイン　環境革命の時代　情報システムと社会　イノベーションとマーケティングリサーチ　ASEAN フィールドワーク A　ASEAN フィールドワーク B　国内フィールドワーク A　国内フィールドワーク B　日本語（会話入門）(1)　デザイン思考と競争戦略　観光立国のための戦略概論　スチューデントビルドキャンパス(SBC)実践　スチューデントビルドキャンパス(SBC)入門　スチューデントビルドキャンパス(SBC)実践(建築 A)　スチューデントビルドキャンパス(SBC)実践(建築 B)　データ・ドリブン社会の創発と戦略　データビジネス創造 A(1)　データ・ドリブン社会の創発と戦略(応用)　人間工学デザインとテクノロジー　機械と材料工学　ブロックチェーン　アジアの人物・物流ネットワーク基盤整備　アイヌの言語と文化（2017 年度まで）　人工知能と政策論　セキュリティ総論 D　PBL 演習 K　働くこととジェンダー　労働法　データビジネス創造 B(1)　日本とアフリカのグローバルコネクション（持続可能な協働の実現のプロセスの探究）　事業創造入門１　事業創造入門２　ドローン未来社会論　出版の未来　コーポレート・アクセラレーターとコーポレートベンチャーキャピタルの役割　食を取り巻く社会課題とイノベーション　ソフトウエア技術を利用した創造的サービス構築論（基礎）　データドリブンアート　ソフトウエア技術を利用した創造的サービス構築論（応用）　マンガ　労働政策　衣食住を取り巻く社会課題とイノベーション　事業創造実践（技術シーズ）　空を飛ぶ　将棋　アフリカ諸国の現実概論　ビヨンドブロックチェーン　ランニングデザイン　e-Sports 論　SFC スピリッツの創造　ミネルバの森（SFC30 周年卒業生連携科目）　ビヨンドブロックチェーン基礎　ビヨンドブロックチェーン応用　データ社会とビジネスモデル　産業保健心理学　日常生活に活かすストレスマネジメント　サイバーセキュリティオペレーション演習　セキュリティ脅威に対する情報システム防御基礎演習　インシデントハンドリング演習　スマートフォンセキュリティ演習　南極生態学　極域における環境問題　うたをつくる　不動産デザイン　インドの文化、環境と技術　SDGs と金融　サイバーレジリエンス入門：理論と実践　うたう　ミクロな世界の生態学　日本の社会保障制度　不動産デザイン（ミニスタジオ）　メディアアート実践　データセキュリティ　アーティスティック・ジャーナリスム　スチューデントビルドキャンパス（SBC）実践（ランドスケープ）　建築メディア論　コンテクストデザイン　AI ロボット駆動科学実験　槇文彦建築とアーバニズム思想　確率コンピューティング入門　Catch the Star- スタートアップ道場（入門編）　Catch the Star- スタートアップ道場（討議編 1）　知識編纂の技法 -1　知識編纂の技法 -2　環境とエネルギーの経済学　セクター横断型の政策形成		
合　計				124	

2　進級と卒業条件

⑴　2014年度以降の入学者

①　第2学年への進級

次の2条件を満たすと第2学年へ進級します。

1　入学後2学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて30単位以上修得すること。

2　次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合政策学	1単位	環境情報学	1単位
心身ウェルネス	1単位	心身ウェルネス	1単位
体育1	1単位	体育1	1単位

②　第3学年への進級

次の2条件を満たすと第3学年へ進級します。

1　第2学年であり、入学後4学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて60単位以上修得すること。

2　次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目－言語コミュニケーション科目 ※1 ただし、いずれかの語種で4単位以上修得すること。 ※2		8単位以上
基盤科目－データサイエンス科目	データサイエンス1	2単位以上
	データサイエンス2	2単位以上
基盤科目－情報技術基礎科目		4単位以上

※1　以下の科目は含めることができません。
SFC実践英語入門、イタリア語ベーシック1、イタリア語ベーシック2、
ロシア語ベーシック1、ロシア語ベーシック2

※2　ロシア語、イタリア語は含まれません。

③　第4学年への進級

次の2条件を満たすと第4学年へ進級します。

1　第3学年であり、入学後6学期以上在学（休学期間を除く）すること。

2　次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目	30単位以上　※3
体育2	1単位
体育3	1単位
研究会Aまたは研究会B	2単位以上

※3　第3学年への進級要件の単位数を含みます。

④　卒　業

次の3条件を満たすと卒業になります。

1　第4学年であり、入学後8学期以上在学（休学期間を除く）すること。

2　次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

先端科目	30単位以上
卒業プロジェクト2　※4	2単位

3　2を含め124単位以上修得すること。

次の単位は卒業に必要な124単位に含めることができません。

・特設科目として修得した単位のうち、20単位を超えたもの

・他学部等設置科目として修得した単位のうち、60単位を超えたもの

※4 「卒業プロジェクト２」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト１」の単位を修得しなければなりません。ただし、「国外留学申請」が教授会で承認され、4年生1学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。P.19, 20〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

①〜④共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。

・自由科目として修得したすべての単位

・日本語インテンシブ科目として修得した単位のうち、24単位を超えたもの

⑵ 07学則からの移行者

① 第２学年への進級

次の２条件を満たすと第２学年へ進級します。

1 入学後２学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて30単位以上修得すること。

2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合講座科目	２単位	総合講座科目	２単位
基盤科目－共通	４単位以上	基盤科目－共通	４単位以上

② 第３学年への進級

入学後4学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて60単位以上修得すると第3学年へ進級します。

③ 第４学年への進級

次の２条件を満たすと第４学年へ進級します。

1 第３学年であり、入学後６学期以上在学（休学期間を除く）すること。

2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
基盤科目－言語コミュニケーション科目	４単位以上 ※1		
基盤科目－データサイエンス科目	４単位以上	基盤科目－データサイエンス科目	４単位以上
基盤科目－情報技術基礎科目	４単位以上 ※2	基盤科目－情報技術基礎科目	８単位以上 ※2
心身ウェルネス	１単位	心身ウェルネス	１単位
体育１	１単位	体育１	１単位
体育２	１単位	体育２	１単位
体育３	１単位	体育３	１単位
先端科目－総合政策系	２単位以上	先端科目－環境情報系	２単位以上
研究会Ａまたは研究会Ｂ	２単位以上	研究会Ａまたは研究会Ｂ	２単位以上

※１ 以下の科目は含めることができません。
英語基礎１、英語基礎２、SFC実践英語入門、ロシア語ベーシック１、ロシア語ベーシック２、イタリア語ベーシック１、イタリア語ベーシック２

※２ 以下の科目も含めることができます。
システムプログラミング、デザインとプログラミング、画像処理プログラミング、グラフィックスプログラミング、スマートデバイスプログラミング、関数型プログラミング、メディア技術基礎（Web）、メディア技術基礎（ネットワーク・画像処理）、メディア技術基礎（３Dプログラミング）

④ 卒　業

次の２条件を満たすと卒業になります。

1 第４学年であり、入学後８学期以上在学（休学期間を除く）すること。

2 「卒業プロジェクト２　※3」を含め124単位以上修得すること。

次の単位は卒業に必要な 124 単位に含めることができません。

・特設科目として修得した単位のうち、20 単位を超えたもの

・他学部等設置科目として修得した単位のうち、60 単位を超えたもの

※３　「卒業プロジェクト２」を履修するためには、「卒業プロジェクト１」を単位修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、4 学年1 学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。

①～④共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。

・自由科目として修得したすべての単位

・日本語インテンシブ科目として修得した単位のうち、24 単位を超えたもの

⑶　第２学年編入者

①　第３学年への進級

次の２条件を満たすと第３学年へ進級します。

1　編入学後２学期以上在学し（休学期間を除く）、自由科目を除いて 60 単位以上修得すること。

2　次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

総合政策学部		環境情報学部	
総合政策学	１単位	環境情報学	１単位
心身ウェルネス	１単位	心身ウェルネス	１単位
体育１	１単位	体育１	１単位

②　第４学年への進級

次の２条件を満たすと第４学年へ進級します。

1　第３学年であり、編入学後４学期以上在学（休学期間を除く）すること。

2　次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目　※1		30単位以上
基盤科目－言語コミュニケーション科目　※2 ただし、いずれかの語種で４単位以上修得すること。※3		８単位以上
基盤科目－データサイエンス科目	データサイエンス１	２単位以上
	データサイエンス２	２単位以上
基盤科目－情報技術基礎科目		４単位以上
体育２・体育３		各１単位
研究会Ａまたは研究会Ｂ		２単位以上

※１　第３学年への進級要件の単位数を含みます。

※２　以下の科目は含めることができません。

SFC実践英語入門、イタリア語ベーシック１、イタリア語ベーシック２、

ロシア語ベーシック１、ロシア語ベーシック２

※３　ロシア語、イタリア語は含まれません。

③　卒　業

次の３条件を満たすと卒業になります。

1　第４学年であり、入学後６学期以上在学（休学期間を除く）すること。

2　次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

先端科目	30単位以上
卒業プロジェクト２　※4	２単位

3　２を含め 124 単位以上修得すること。

次の単位は卒業に必要な 124 単位に含めることができません。

・特設科目として修得した単位のうち、20 単位を超えたもの
・他学部等設置科目として修得した単位のうち、60 単位を超えたもの

※4 「卒業プロジェクト 2」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト 1」の単位を修得しなければなりません。但し、「国外留学申請」が教授会で承認され、4 年生 1 学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。
P.19, 20〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

①〜③共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。
・自由科目として修得したすべての単位
・日本語インテンシブ科目として修得した単位のうち、24 単位を超えたもの

⑷ 学士入学者

① 第 4 学年への進級

次の 3 条件を満たすと第 4 学年へ進級します。

1 入学後 2 学期以上在学（休学期間を除く）すること。
2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

基盤科目	8 単位以上
研究会 A または研究会 B	2 単位以上

3 2 を含め、自由科目を除いて 20 単位以上を修得すること。

② 卒 業

次の 3 条件を満たすと卒業になります。

1 第 4 学年であり、入学後 4 学期以上在学（休学期間を除く）すること。
2 次の所定の単位を、それぞれすべて修得すること。

先端科目	16単位以上
卒業プロジェクト 2 ※1	2 単位

3 2 を含め 50 単位以上を修得すること。
次の単位は卒業に必要な 50 単位に含めることができません。
・特設科目として修得した単位のうち、20 単位を超えたもの
・他学部等設置科目として修得した単位のうち、16 単位を超えたもの

※1 「卒業プロジェクト 2」を履修するためには、前学期までに「卒業プロジェクト 1」の単位を修得しなければなりません。ただし、「国外留学申請」が教授会で承認され、4 年生 1 学期目に留学する学生は事前に必要な手続きを行った場合にはこの限りではありません。
P.19, 20〈卒業プロジェクト〉を参照してください。

①〜②共通の注意事項

次の単位は、進級・卒業に必要な単位に含めることができません。
・自由科目として修得したすべての単位
・日本語インテンシブ科目として修得した単位のうち、24 単位を超えたもの

塾生、保護者・保証人の方々にかかわる個人情報の取扱い

1　義塾の学生・生徒・児童等の主な個人情報は、次のとおりです。
①　塾生本人の氏名・住所・電話番号・生年月日・出身校等
②　保護者・保証人の氏名・住所・電話番号（自宅および緊急連絡先）・本人との続柄等
③　塾生等の学籍・成績・健康診断・在学中のその他の活動履歴情報、寄付金・慶應カードの申し込みデータなど

2　個人情報を取り扱うに当たっては、あらかじめ利用目的を特定し、明示いたします。特定した利用目的以外には利用しません。また、利用目的を変更する場合は、本人に通知するか、義塾のホームページへの掲載、所定掲示板への掲示等により公表いたします。

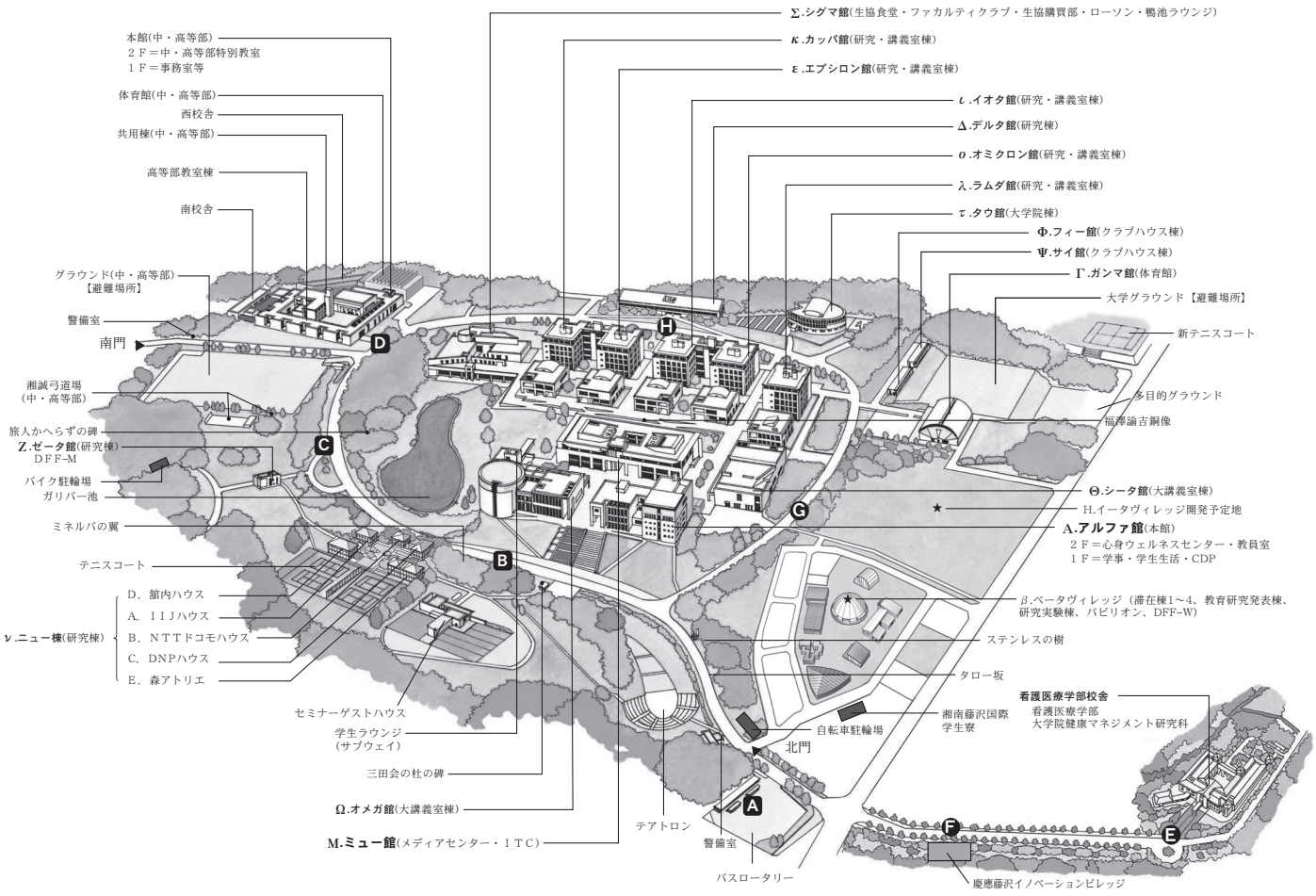
3　個人情報は、以下の諸業務遂行のために利用します。
①　入学手続および学事に関する管理、連絡および手続
②　学生生活全般に関する管理、連絡および手続き
③　大学内の施設・設備利用に関する管理、連絡および手続
④　寄付金、維持会・慶應カードの募集等に関する書類発送およびその他の連絡
⑤　本人および保護者・保証人に送付する各種書類の発送
⑥　卒業後の刊行物の発送、評議員選挙および寄付金・維持会・慶應カードの募集等に関する各種書類送付とこれらに付随する事項

4　上記３の業務のうち、一部の業務を慶應義塾から当該業務の委託を受けた受託業者において行います。業務委託に当たり、受託業者に対して委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、個人情報を提供することがあります。

5　三田会または同窓会から要請があったときは、当該三田会または同窓会に所属する者の個人情報を当該組織の活動に必要な範囲で提供することがあります。

6　慶應義塾は、上記３～５の利用目的の他には、特にお断りする場合を除いて個人情報を利用もしくは第三者への提供をいたしません。ただし、法律上開示すべき義務を負う場合や、塾生本人または第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に第三者に個人情報を提供することがあります。

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスマップ



キャンパス内バス停案内

神奈川中央交通バス停留所	鴨池急行 SoKanKan 停留所（無料）
Ⓐ 慶応大学	Ⓔ 看護医療学部前
Ⓑ 慶応大学本館前	Ⓕ SFC-IV
Ⓒ 中高降車場	Ⓖ Ａ館（本館北側）
Ⓓ 慶応中高等部前	Ⓗ デルタ館
	※湘南藤沢キャンパス内の巡回バスです。

湘南藤沢キャンパスへのアクセス

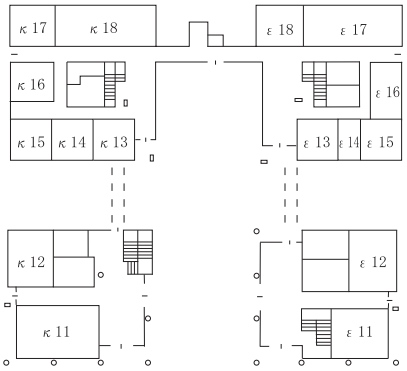
【湘南台駅より】	【辻堂駅より】
神奈川中央交通バス 「湘南台駅西口」より「慶応大学」行き 湘23、湘24、湘25 系統	神奈川中央交通バス「辻堂駅北口」より 辻34 系統「慶応大学」行き 辻35 系統「慶応中高降車場」行き

湘南藤沢キャンパス　施設案内図

κ館（講義室）　ε館（講義室）

2階

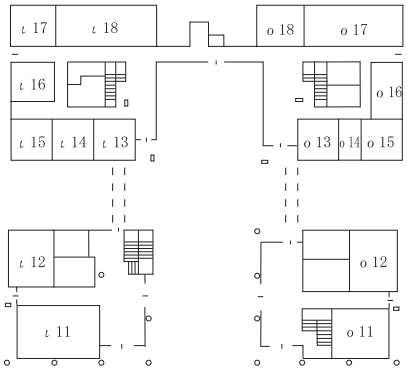
1階



ι館（講義室）　o館（講義室）

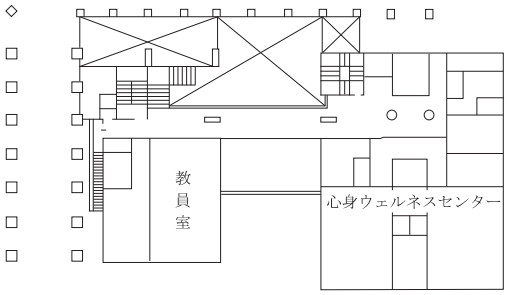
2階

1階

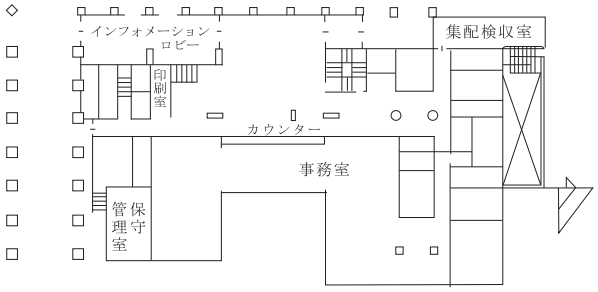


A館（事務室など）

2階

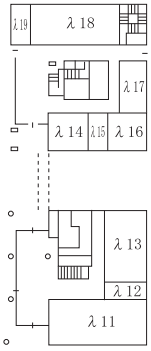


1階

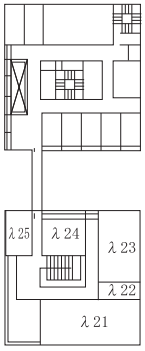


λ館（講義室）

1階

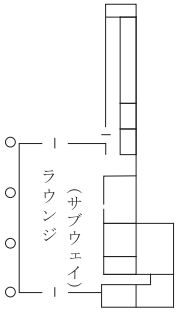


2階

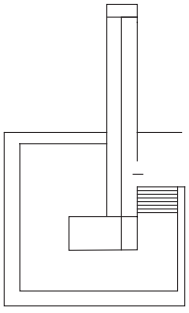


学生ラウンジ

1階

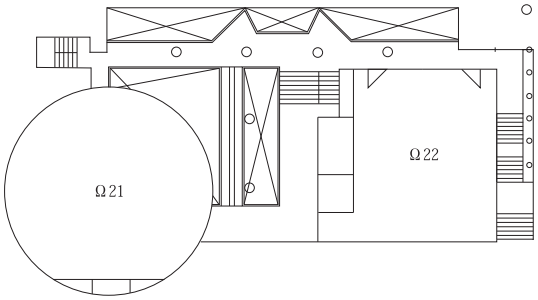


2階

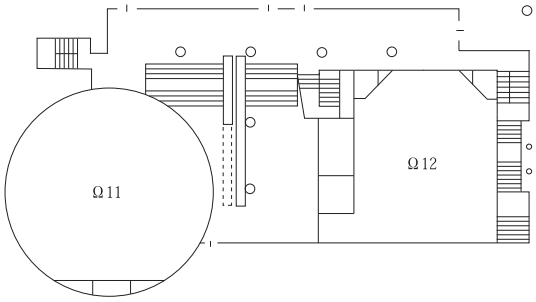


Ω館（大講義室）

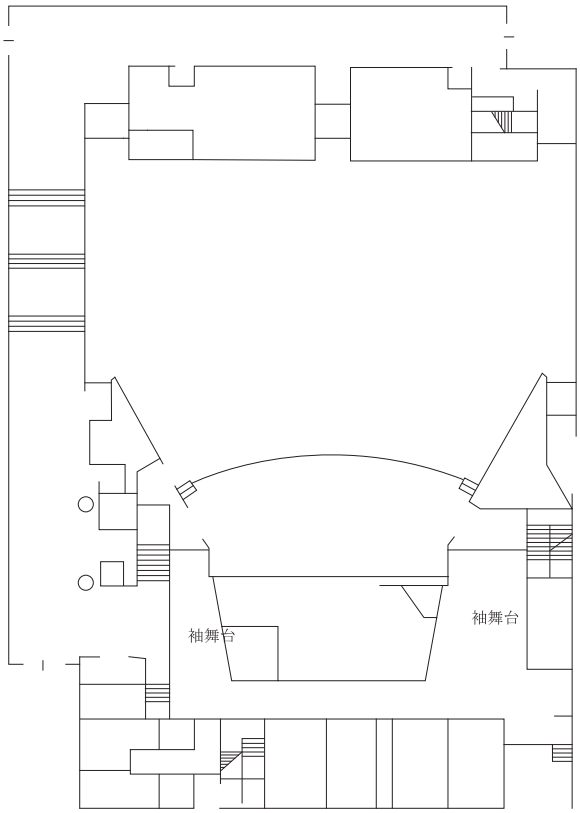
2階



1階



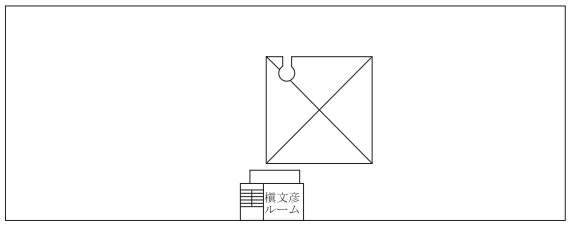
θ館（大講義室）



M館（メディアセンター・ＩＴＣ）

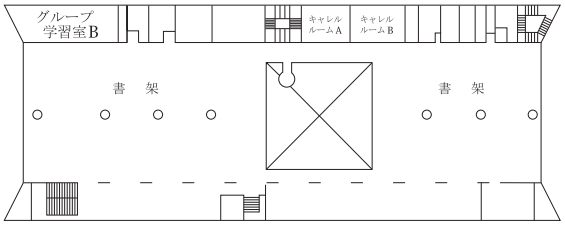
4階

槇文彦ルーム



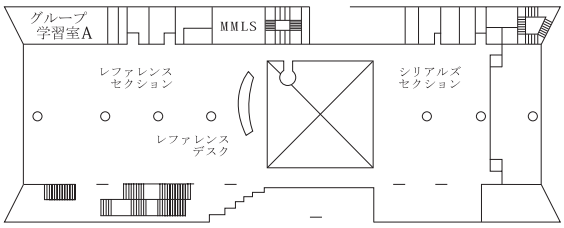
3階

ライブラリーエリア，キャレル



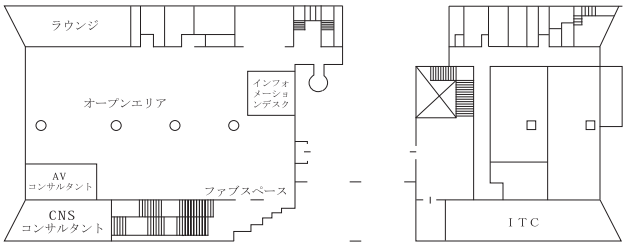
2階

ライブラリーエリア



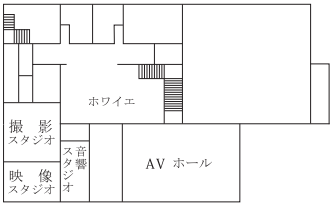
1階

オープンエリア



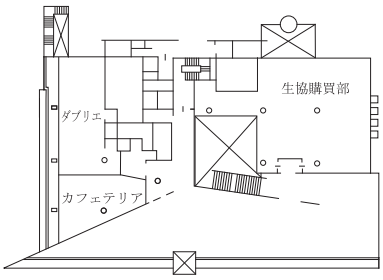
地階

スタジオエリア

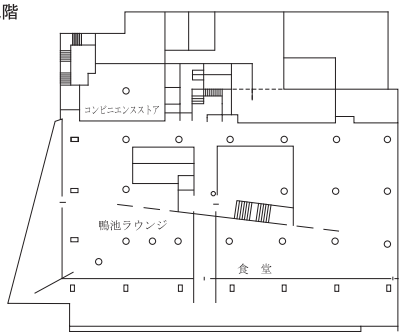


Σ館（厚生施設）

1階

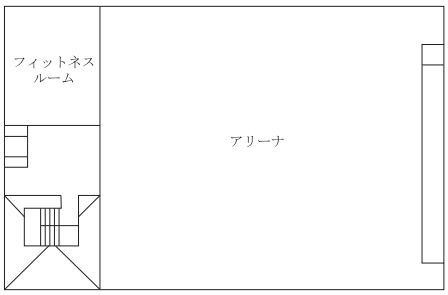


地階

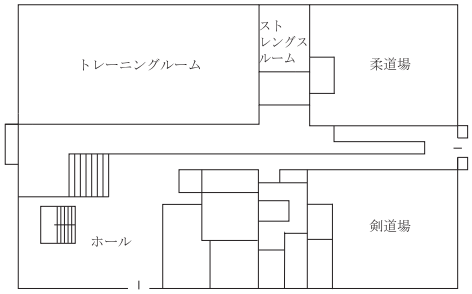


Γ館（体育施設）

2階

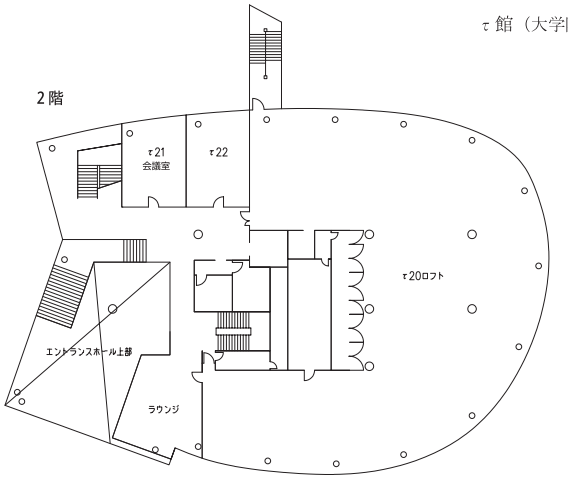


1階

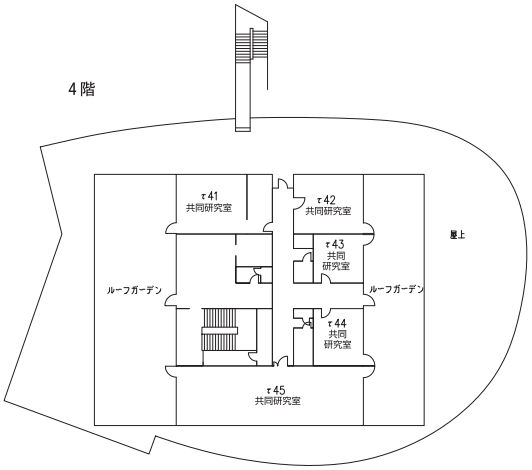


τ館（大学院棟）

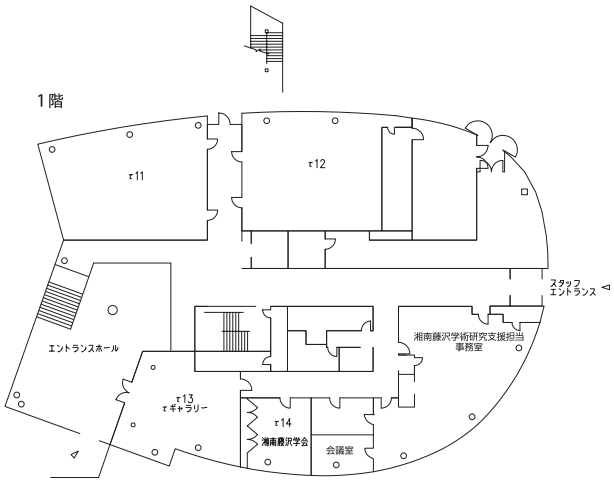
2階



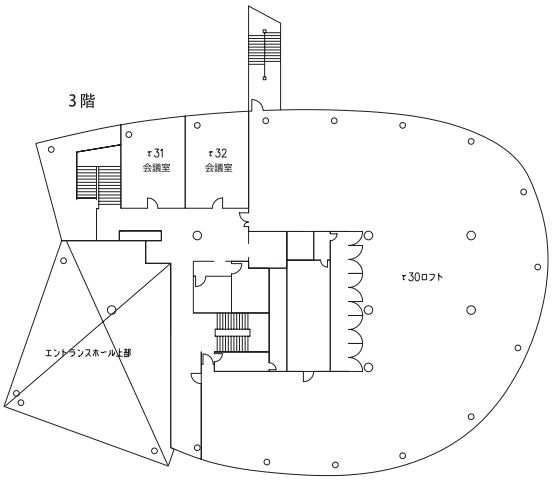
4階



1階



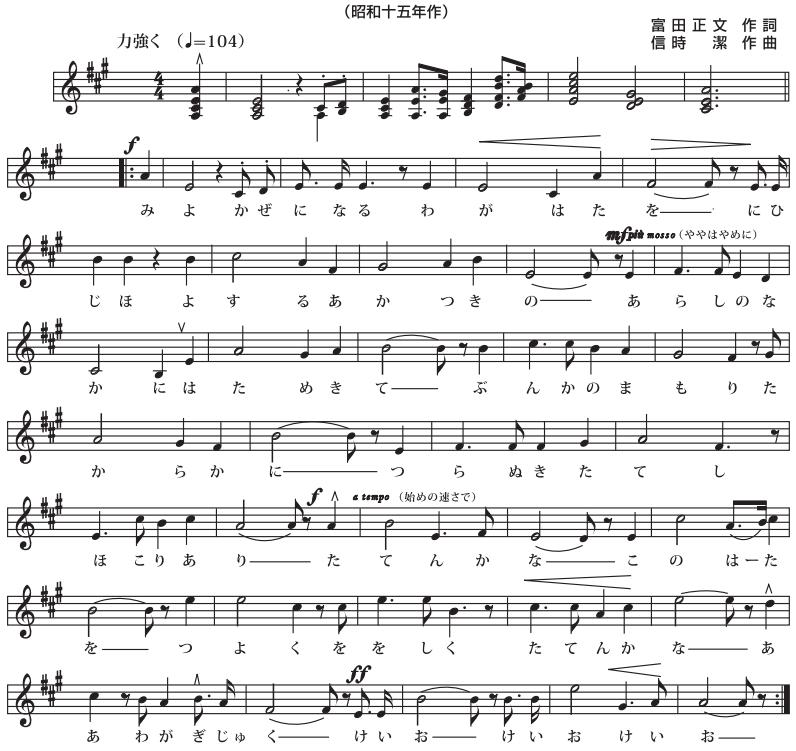
3階



慶應義塾塾歌

（昭和十五年作）

富田正文 作詞
信時 潔 作曲



1．見よ
　風に鳴るわが旗を
新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて
文化の護りたからかに
貫き樹てし誇りあり
　樹てんかな　この旗を
　強く雄々しく樹てんかな
　　あゝ　わが義塾
　　慶應　慶應　慶應

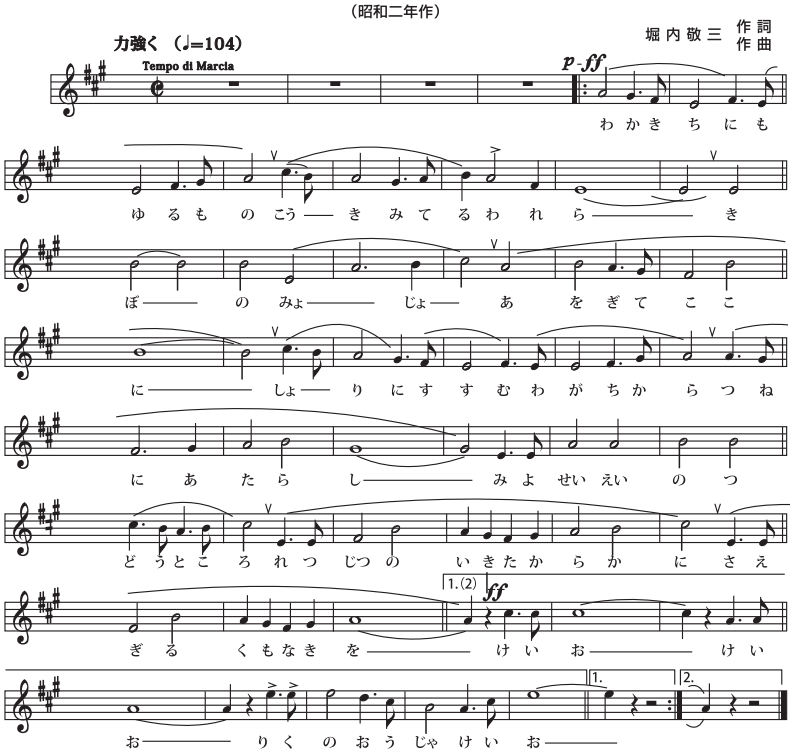
2．往け
　涯なきこの道を
究めていよゝ遠くとも
わが手に執れる炬火は
叡智の光あきらかに
ゆくて正しく照すなり
　往かんかな　この道を
　遠く遙けく往かんかな
　　あゝ　わが義塾
　　慶應　慶應　慶應

3．起て
　日はめぐる丘の上
春秋ふかめ揺ぎなき
學びの城を承け嗣ぎて
執る筆かざすわが額の
徽章の譽世に布かむ
　生きんかな　この丘に
　高く新たに生きんかな
　　あゝ　わが義塾
　　慶應　慶應　慶應

若き血

（昭和二年作）

堀内敬三 作詞
作曲

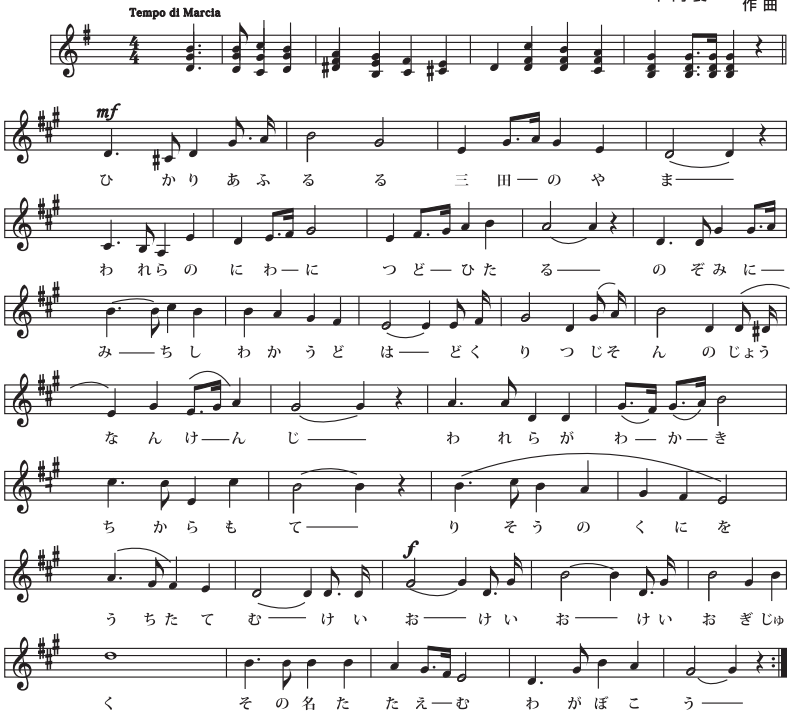


若き血に燃ゆる者
光輝みてる我等
希望の明星仰ぎて此処に
勝利に進む我が力
常に新し
見よ精鋭の集う処
烈日の意気高らかに
遮る雲なきを
慶應　慶應
陸の王者　慶應

慶應讃歌

（昭和二十二年作）

平岡養一 作詞
作曲



1.
光あふるゝ三田の山
我等が校庭に集いたる
希望に充ちし若人は
独立自尊の城南健児
我等が若き力以て
理想の祖国を打建てん
慶應　慶應　慶應義塾
その名讃えん我が母校

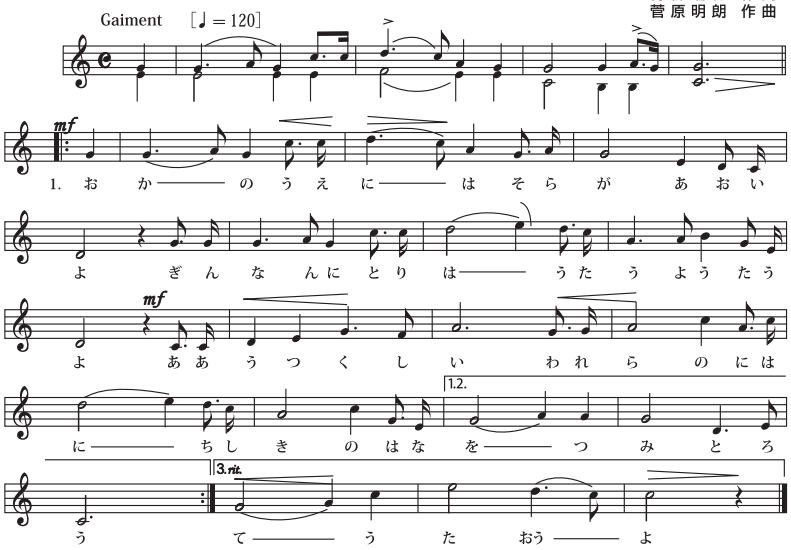
2.
栄えに輝く三田の山
意気と力と熱情の
血潮に燃ゆる男の子等が
今ぞ戴く覇権の冠
かゞり火映ゆる丘の上
凱歌を挙げん高らかに
慶應　慶應　慶應義塾
いざや讃えん我が母校

3.
あゝ美しき三田の山
第二の故郷三田の山
共にむつみし幾年は
心に永くとゞまらん
月去り星は移るとも
夢に忘れぬその名こそ
慶應　慶應　慶應義塾
永遠に讃えん我が母校

丘の上

（昭和三年作）

青柳瑞穂 作詞
菅原明朗 作曲



1.
丘の上には空が青いよ
ぎんなんに鳥は歌うよ歌うよ
あゝ美しい我等の庭に
知識の花を摘みとろう

2.
窓を開けば海が見えるよ
朗らかに風は渡るよ渡るよ
あゝ嚠喨と理想のラッパを
あなたの空に吹きならそう

3.
新しい時代の鐘がひゞくよ
若人の胸は躍るよ踊るよ
あゝ華やかに若き命を
声張り挙げて歌おうよ

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

ＳＦＣ授業時間表

授業時間帯は、キャンパス毎で異なります。
SFC における授業時間帯は、以下のとおりです。

時限	授業時間
1	9：25 ～ 10：55
2	11：10 ～ 12：40
3	13：00 ～ 14：30
4	14：45 ～ 16：15
5	16：30 ～ 18：00
6	18：10 ～ 19：40
7	19：50 ～ 21：20

※遠隔授業の場合は、9:00 開始などもあり得る。

他キャンパス授業時間表

時限	三　田・日　吉・矢　上
1	9：00 ～ 10：30
2	10：45 ～ 12：15
3	13：00 ～ 14：30
4	14：45 ～ 16：15
5	16：30 ～ 18：00

KEIO SFC GUIDE 2022

発行日　2022年 4 月 1 日
発行者　慶 應 義 塾 大 学
編　集　湘 南 藤 沢 事 務 室
制　作　有限会社　橋本写真館